

令和4年度実施事業 実施報告会

市民活動推進基金補助事業

と き 令和5年6月24日(土)
ところ 市役所本庁舎4階 会議室2~5

【進行スケジュール】

- 9:00 開会
9:10 報告(スタート支援 1事業)
9:28 報告(ステップアップ支援 8事業)
12:06 総括質疑・あいさつ
12:30 閉会



お問い合わせ

茅ヶ崎市暮らし安心部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)

0467-81-7126(直通)

E-mail: shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp

令和4年度実施市民活動推進基金補助事業 実施報告書 目次

令和4年度実施市民活動推進基金補助事業実施報告会 進行予定表	1
令和4年度実施市民活動推進基金補助事業について	2
市民活動推進基金（愛称：市民活動げんき基金）にご寄附いただいた方々	5
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	7
令和4年度実施市民活動推進基金補助事業実績報告書	
◆◆スタート支援◆◆	
① 多様性野菜活用の料理教室 多様性野菜活用支援協会	8
◆◆ステップアップ支援◆◆	
② 夏休み子供向け SUP 体験会 2022	
特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン	16
③ 「①フリーペーパーの編集・発行」、「②WEBサイトの更新と情報発信」	
BENIRINGO	30
④ 子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会&地域交流会	
ふらっと南湖	36
⑤ 鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦	
特定非営利活動法人こども応援丸	46
⑥ いのちの教室（仮）in「わんにゃんマルシェ」 わんにゃんマルシェ実行委員会	52
⑦ スローコミュニケーションプロジェクト 一般社団法人4Hearts	62
⑧ 心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」	
マザーアース茅ヶ崎	72
⑨ 赤ちゃんとママのためのコンサート～こどもから大人まで楽しめるコンサート～	
湘南 Liebe	80

令和4年度実施市民活動推進基金補助事業実施報告会 進行予定表

各団体が10分程度で事業の実施状況を発表し、その後、6分程度で市民活動推進委員会が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

9:00 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び評価方法についての説明）

発表時間		事業名	団体名
9:10	1	多様性野菜活用の料理教室	多様性野菜活用支援協会
9:28	2	夏休み子供向けSUP体験会 2022	特定非営利活動法人SUPU スタンドアップパドルユニオン
9:46	3	①フリーペーパーの編集・発行 ②WEBサイトの更新と情報発信	BENIRINGO
休憩(10:02~10:12)			
10:12	4	子どもを大切に育むための「子どもの権利」 勉強会&地域交流会	ふらっと南湖
10:30	5	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策 とパワフル大作戦	特定非営利活動法人こども応援丸
10:48	6	いのちの教室(仮)in「わんにゃんマルシェ」	わんにゃんマルシェ実行委員会
休憩(11:04~11:14)			
11:14	7	スローコミュニケーションプロジェクト	一般社団法人4Hearts
11:32	8	心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」	マザーアース茅ヶ崎
11:50	9	赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～	湘南Liebe
総括質疑(12:06~12:25)			

12:30 閉会（委員長あいさつ）

令和4年度実施市民活動推進基金補助事業について

1 申請団体募集

広報ちがさき、市公式ホームページ等で申請団体を募集しました。

○募集期間 令和3年12月1日（水）～令和4年1月13日（木）

2 企画書作成会

○日時 令和3年12月13日（月）～12月24日（金）までの間

事前予約制・個別実施

3 公開ヒアリング及び公開プレゼンテーション

スタート支援申請事業については、市民活動推進委員会委員による申請団体へのヒアリングを行いました。

ステップアップ支援申請事業については、申請団体によるプレゼンテーションと、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行いました。

○日時 令和4年3月19日（土）

13時～17時15分

○対象 スタート支援1団体、ステップアップ支援8団体

（原則、オンライン参加）

4 補助事業の選考

非公開の選考会議で、市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

（スタート支援申請事業については★印がある3項目のみを評価）

- (1) 公益性★：事業の成果は、多くの市民の利益となるものであるか、または多くの市民の利益につながるものであるか。
- (2) 発展性★：補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
- (3) 費用の妥当性★：対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。
- (4) 地域性：地域住民のニーズに合うものであるか。
- (5) 先駆性：これまでに無い（少ない）新しい取り組みであるか、または新たな視点、発想から（再）提案されたものであるか。
- (6) 事業実現性：実行可能な方法、スケジュール、予算で事業計画が立案されているか。
- (7) 自立性：自己努力による資金確保に努めているか。
- (8) 継続性：補助事業が終了した後も、継続的な展望を描くことができる活動か。

5 選考結果

選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告され、市長が予算の範囲内で各事業の採択及び不採択を決定しました。

6 事業実施後の評価について

（1）市民活動推進委員会の評価

市民活動推進委員会は、団体が市民活動推進補助金により実施した事業の報告を受けて、当該事業に対して次のような観点から5段階評価を行うとともに、コメントを付します。

- 事業の実施状況（事業内容）について
- 事業の効果について
- 今後の展開や発展について

（2）段階評価

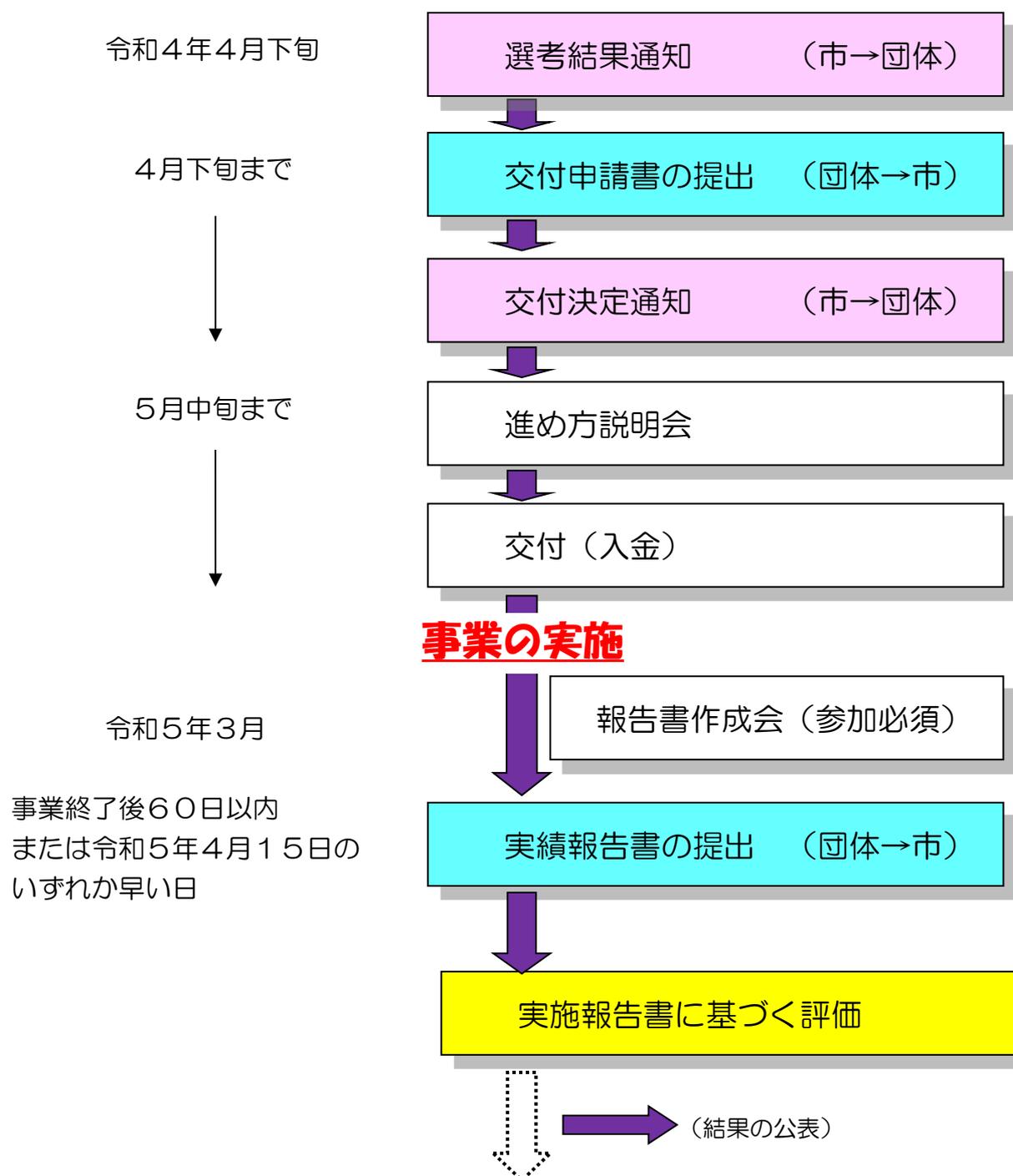
市民活動推進委員会が行う「事業内容」「効果」についての評価は、5段階評価とします。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかによい方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の内容であった。
2	事業実施前の想定よりやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定よりはるかに低いと感じられた。

（3）市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、補助事業の全体像を把握することで、今後の制度改善や市民活動の推進、団体サポート等についての審議を効果的に進め、評価結果及び審議結果を行政にフィードバックします。

7 事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、市民活動の推進及び制度の改善に活用します。

市民活動推進基金にご寄附いただいた方々

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額（円）
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年4月4日	6,961
湘南ヤクルト販売株式会社	令和4年4月28日	10,439
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和4年5月18日	32,451
令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会設置募金箱	令和4年5月23日	200
益永 律子	令和4年5月23日	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年7月3日	5,667
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年8月1日	7,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年9月2日	5,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年9月12日	10,990
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年10月4日	8,400
湘南ヤクルト販売株式会社	令和4年10月26日	14,308
特定非営利活動法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	令和4年10月31日	5,341
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和4年11月2日	46,980
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年11月7日	2,140
ふるさと納税（匿名）	令和4年11月30日	15,000
匿名	令和4年12月15日	30,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月20日	11,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月20日	11,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月25日	48,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年12月27日	4,520
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和5年3月3日	5,100
益永 律子	令和5年3月16日	10,000
マルハン茅ヶ崎店・平塚店	令和5年3月20日	100,000
令和5年度実施市民活動推進基金補助事業公開ヒアリング・プレゼンテーション設置募金箱	令和5年3月20日	3,200
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年4月4日	6,228
湘南ヤクルト販売株式会社	令和5年4月20日	9,260

ふるさと納税（匿名）	令和5年4月25日	10,000
	合計	429,185
	17年度からの合計	12,962,107

市民活動推進補助事業 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただいています。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

令和5年度事業は、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）様からの企業版ふるさと納税も活用して補助を実施します。




GDO様は「GDO 茅ヶ崎ゴルフリンクス」（茅ヶ崎市菱沼海岸）の運営事業者として、これまでも市政の様々な分野に対しご寄附をいただくなど、ご支援・ご協力をいただいております。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和5年4月1日現在

区分	委員名	所属
市民	おお はた とも こ 大 畑 朋 子	公募
	まち だ ゆ き 町 田 有 紀	
市民活動を行うものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	き い とも ひろ 紀 伊 智 裕	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社 湘南支社副支社長兼茅ヶ崎編集室編集長
学識経験を有する者	しすく いし つよし 翠 石 剛	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	はら だ こう き 原 田 晃 樹	立教大学コミュニティ福祉学部
	やま だ しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年 3月 31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 多様性野菜活用支援協会

代表者氏名 会長 堀江 恒太

令和4年4月1日付け4茅市自第4号で交付決定を受けました「多様性野菜活用の料理教室」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>多様性野菜活用の料理教室</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p><活動内容></p> <p>近隣の農家で栽培された野菜で、規格外のサイズでできた野菜で市場に出回ることなく破棄されるものを活用していくことを推奨するための活動。広く参加者に知ってもらい、啓発活動に取り組む。料理教室をスタートする前に、簡単に趣旨説明を実施。欧州で行われている活動についての書面を配布した。規格外で廃棄される野菜を積極的に活用して、新たな価値としての料理を作る。価値をつくるための料理方法を専門の講師が、一般の方に料理方法を教える講座。</p> <p><仕入れ農家></p> <p>料理教室の会場は、茅ヶ崎市内にあるうみかぜテラスの調理室を借りて、茅ヶ崎市民を中心に近隣で参加できる方への告知。廃棄予定の野菜をここでは、「多様性野菜」として定義する。取組にあたり、茅ヶ崎市民を中心に行う活動だけに、茅ヶ崎の農家さんからの仕入れにすることが地産地消の考え方から良いので、積極的に農家にお声をかけたが、うまくいかず、もともとのこの取組にご賛同いただいた「鎌倉野菜の農家」の方からのみの仕入れとなった。三浦野菜の農家の方からは、料理教室開催日にちょうど廃棄野菜がないということで仕入れができなかった。鎌倉農家の方は、なんとかして出荷していただいた。</p> <p><事業開催日程></p> <p>○ 2022年10月15日(土) 09:00-14:00 うみかぜテラス調理室</p> <p>実施内容： 本番までの準備として、料理教室開催の課題抽出と実施練習</p> <p>参加者 : 2名 主催者側 : 2名</p> <p>○ 2023年1月7日(土) 09:00-18:00 うみかぜテラス調理室</p> <p>実施内容 : 料理教室 午前と午後の2回開催</p> <p>参加者 午前 : 3名 午後 : 1名 主催者側 : 2名</p>



写真：2023年1月7日（土） 講師堀江氏と参加者3名

調理用具と食材の話を、実技で見せながら参加者との会話

○ 2023年2月と3月にそれぞれ設定したが、残念ながら調理教室の会場確保ができなかった2月と、食材仕入れができなかった3月となった。

どちらの回も募集はかけていて参加希望者がいたが、お断りの連絡を入れた。

<メニュー>

○ 2022年10月15日



里芋の唐揚げ 酢取り茗荷添え

●里芋の唐揚げ
里芋 酒 砂糖 昆布 片栗粉

●酢取り茗荷(みょうが)
茗荷 塩 かんたん酢 煮物

- 1、里芋は良く水洗いして皮を剥く→水でさらし滑りを取る
- 2、昆布出汁に酒、砂糖を加え里芋を煮る。ある程度煮たら塩を加え味を整える
- 3、煮た里芋を丘上げる（熱々のまま取り出して冷ます事）
- 4、水分がある程度蒸発したら、片栗粉をまぶし油で揚げる
- 5、茗荷を縦に4切りにし、軽く茹でる
- 6、茹でた茗荷をザルに上げ軽く塩を振る
- 7、茗荷が冷めたら甘酢又はかんたん酢に漬ける
- 8、酢が染みたら盛り付け



<当日配布にしたレシピのオリジナルのコピー>

○ 2023年1月7日（土）

1. 小豆粥

少し甘めに作るとことにより子どもたちに人気ができる。

2. 煎り酒

【活用】

いろいろな料理に活用できる。作るためのコツを理解すると便利。

3. 煎り酒を使ってカブの和物

規格外のカブを活用

【活用】

カブの切り方、剥き方などをプロのやり方を学ぶ

4. 蓮根のきんぴら

【活用】

夕食の1品追加を考えるのに便利で保存できる。

5. 春菊のサラダ

規格外の春菊を活用

【活用】

夕食の追加1品になる。

6. 長芋のわさび漬

【活用】

酒の肴になる1品

<8月の夏休みに親子での料理教室を企画>

子供と親が、規格外野菜を活用して一緒に料理を作る企画を考えました。

残念ながら開催に至りませんでした。当初の考え方から異なるということで中止しました。2023年度は、当初の企画案と違いますが、企画に縛られずに開催したいと考えています。

RECIPE No. 1
多様な野菜をつかった
夏野菜カレー

15人分の材料です

①土ねぎ(大玉2ヶ)	サラダ油 適量
赤パプリカ(1ヶ)	おろし生姜、おろしニンニク 適量
②水	ひき肉(種類問わず)500g
四角フイヨン 3ヶ	カレールー 1/2箱
SBカレー粉 40g	ヨーグルト 200g
マンゴーチャツネ	粗挽き胡椒 適量(お好み)
またはママレードジャム 40g	
濃縮トマトピューレ 2袋	

Let's get started!

- ①をミキサーにかける
- ②金鍋に火をかけた後、サラダ油をひき、おろし生姜、おろしニンニクを入れ弱火にかける
- ③ある程度火が通ったら、ひき肉500gを炒める
- ④ひき肉に火が通ったら材料①と②を入れて10分程煮込む
- ⑤一度火を止めて、カレールーを入れる
- ⑥カレールーが溶けたら、ヨーグルトを混ぜる
★ヨーグルトはホイップによく混ぜて液状にしてお玉で混ぜながら流し込むと旨みにならない
- ⑦お好みで粗挽き胡椒を入れて辛さを調整したら、完成!

Well done

Instagram @reazanau.dreaming

そのとき使うレシピです。

<開催時のメモ>

10月にリハーサルを2名のお手伝いの方の応援をいただき合計4名で、うみかぜテラスで開催ができた。本番の料理教室は、1月、2月、3月と3回設定したが、実際開催できたのは、1月7日のみとなった。理由としては、2月開催予定日は会場が取れず、3月開催は参加者も集まり、1週間前を切ったときに鎌倉農家に確認したら、残念ながら端境期に入り、野菜が提供できないということが判明し中止を決定した。すぐに参加者に連絡をして会場をキャンセルした。募集要項やレシピの準備をしていたので、とても残念な結果になった。年に2回だけ端境期があるので、2023年度は事前に把握してその時期の開催を避けて設定が必要であると学ぶことができた。

仕入れ農家を茅ヶ崎にある農家にすることが命題であったが、残念ながらつながることができなかった。土曜日の朝に開催される市営球場そばの朝市の時に農家にコンタクトしたが、あまり良い感触を得ることができないかった。茅ヶ崎の農家は諦めて、フレキシブルに対応がいただける鎌倉農家に絞った。2023年度も鎌倉野菜の農家をお願いすることにする。

募集方法については、いろいろと試みることはできなかった。これ

	<p>は、メインで活動している2名の本業が忙しく時間を割くことができなかつた。2023年度に向けて募集方法に力を入れて活動する。</p> <p>3月開催の時に、鎌倉野菜の農家は端境期で作物を取らない時期であったことから、三浦農家も同じような傾向にあると理解してしまい、声をかけなかつた。更には、端境期であることが判明したのが、1週間前でもあり、もう少し早めに確認をするべきでした。三浦農家も同様に端境期であることと考えてしまったことがある。</p> <p>ここで考えるべきことは、やはり農家の方とは密に連絡を取るべきであるとを学んだ。</p>
事業の参加者数	4名（1月7日開催）
事業の日程	<p>2022年10月15日（土） 料理教室本番のためのリハーサルを実施</p> <p>2023年1月7日（土） 料理教室開催</p> <p>2023年2月22日（水）料理教室開催（日程変更後に場所が確保できず）</p> <p>2023年3月28日（火）農家端境期の為未開催（キャンセル）</p>
事業の成果と今後の展開	<p>事業スタート時は、コロナ禍の状況で、会場であるうみかぜテラスが使用することが6月までできずに、開催が遅れることになった。会場を借りることができるようになった7月1日から、開催日を確定したが、調理室利用に際して感染対策などの規制があり、当初予定していなかつた、感染対策費用と衛生用品を購入しなければならなくなつた。この分の費用は個人負担となつた。</p> <p>講師と運営スタッフの本業の合間を縫ってスケジュールを立案するのが難しく、10月15日（土）に設定することになる。この設定日は、本番の料理教室のためのリハーサルとして実施した。理由としては、実際の料理教室を開催するには十分な準備ができていないことがわかり、急遽リハーサルとした。講師と運営スタッフ以外に2名のお手伝いの方を含めて4名でリハーサルができた。この経験貴重で、次の開催への足がかりになつた。募集パンフレット及びレシピも専門のデザイナーに発注して作成することができた。この活動団体のロゴも廉価で作っていただきました。リハーサルをしたことにより運営方法について自信になり、2023年1月、2月、3月に開催するためのやり方などを学ぶことができた。野菜仕入れも実際にダンボール箱2個を廉価で仕入れして運ぶことができた。実際は、電車で運ぶのは個数と量が多いので難しことが課題である。</p> <p>今回の事業の最大の失敗は、予算の段階で、調味料やほかの食材を計上することができなかつた。より良いものを提供して参加者に満足をしてもらえるようにすればするだけ、赤字になるので、マイナスのグラフになってしまった。開催側としては残念な活動となってしまった。料理する際さいに必要な、廃棄野菜以外の食材や調味料、安全の</p>

ための衛生用品を事前計上しなければならないという教訓だけが残った。

2023年1月7日（土）については、募集に対して4名の応募があり、開催が午前と午後の2回開催できた。当初考えていた3,000円の参加費の半額の設定1,500円で4名の収入を得ることができ、収入は、6000円となる。参加者からのご意見としては、内容の割には、廉価の参加費であるというご意見をいただきました。この事業を起案して、審査をいただいたとき参加費が高いという指摘を受けて、半額で開催してことにしたが、オリジナルの構想でもいけるという感触をえることができた。参加者が楽しんでもらえたのでやりがいを感じることもできた。参加者からの口頭でのご意見の中には、普通の料理教室ではない特殊な技術の説明もあり、価値のある料理教室であるともいわれる。これからも参加を継続的にしたいと意見をいただきました。

最後に2023年度も2022年度の経験をもとに、無理ない開催間隔で設定することにした。

収支決算書2022年度(多様性野菜活用支援協会)

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.事業収入	¥108,000	¥6,000	2023年1月7日料理教室 @1,500 x 4人 市民活動推進補助金(返納:60,000円)
2.補助金	¥100,000	¥40,000	
3.団体収入		¥840	
	¥208,000	¥46,840	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1-1事業人件費	¥0	¥0	講師交通費(2日分) 三浦野菜仕入れなし
1-2事業旅費	¥7,200	¥720	
	¥34,440	¥0	
1-3 物品費	¥3,960	¥1,320	鎌倉野菜運搬費用(2日分)
	¥48,000	¥4,000	鎌倉野菜農家2日分 @2000円x2回
2 印刷製本費	¥25,000	¥22,000	募集パンフレット作成費用 750枚(合計)
	¥25,000	¥11,000	食材のレシピ制作費用 5500円x2回
	¥12,000	¥0	
	¥4,800	¥0	
3.使用料・賃借料	¥43,200	¥7,800	2回開催(10/15, 1/7) うみかぜテラス調理室
4. 雑費(消耗品代)	¥4,400	¥0	
	¥208,000	¥46,840	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 特定非営利活動法人 S U P U
スタンドアップパドルユニオン

代表者氏名 理事長 細井 隆

令和4年4月1日付け4茅市自第13号で交付決定を受けました「夏休み子供向け SUP 体験会 2022」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名

夏休み子供向けSUP体験会 2022

実施場所：茅ヶ崎海岸ヘッドランドビーチ西側
 実施方法：2022年小中学校の夏休み期間の3日

【体験会開催のお知らせおよび参加者募集広告】

市内の小中学生を対象とし、ポスターを小学校へ配布、中学校への掲示依頼を行いました。

その他、チラシ、ポスターを地域周辺サーフショップ、コミュニティセンターに配布しました。

合わせて、弊団体のホームページ、Facebookに告知し、予定の日程全てが、告知後1か月で申込者多数により、満員御礼となりました。

事業の実施内容

※実施方法、場所等を具体的に記入してください。



SUPU 夏休み子供向け SUP 体験会 2022

暑い夏休みは、海でSUP(スタンドアップパドルボード)を楽しもう!!

茅ヶ崎市の小中学生を対象に夏休みこども SUP 体験会を開催します。
 夏の思い出に茅ヶ崎の海で SUP を体験してみてください!

開催日: 2022年7月17日(日)、7月24日(日)、7月31日(日)、8月7日(日)
 各日とも1日2部構成
 1部: 8:30~9:30(定員 18名)、2部: 10:00~11:00(定員 18名)
 ※天候不順等で延期の場合の予備日 8/28(日)、9/4(日)

参加費用: 500円(保険代込み) ※当日お支払いいただきます。

沢山のこども達に体験していただきたく、お申し込みは
 お子様ひとりあたり一回のみと致します。

申込先: オンラインによるお申込みとなります。====>

開催地: 茅ヶ崎市ヘッドランド西側
 主催: NPO 法人 SUPU スタンドアップパドルユニオン
 お問い合わせ: info@supu.co.jp SUPU 事務局



なお、コロナウイルス対策にて、当日受付にて、検温および手指の消毒を行っていただきます。

本事業は、茅ヶ崎市市民活動げんき基金補助事業の補助により実施しています。

【体験会に向けた準備】

① 体験会のカリキュラム

昨年の反省点を踏まえ、体験会の集合時間から開始時間までの間に道具の説明や子ども達とのコミュニケーションを取り、子ども達が海に出やすい環境を作りました。インストラクターも増員し、安全に特に配慮しました。



② インストラクターの T シャツを作成し、誰に付いていけば、教わればよいかも明確になりました。



事業の参加者数	実施回数毎 20名 6回の実施 延べ120名
事業の日程	<p>2022年07月17日 海況コンディション悪く中止</p> <p>2022年07月24日 1部2部の2回</p> <p>2022年07月31日 1部2部の2回</p> <p>2022年08月06日 1部2部の2回 コンディションにより土曜日に設定</p> <p>以上計6回</p>
事業の成果と今後の展開	<p>1) 場所・時期 夏休み時期ですが、ヘッドランドビーチ西側エリアは混み合うことなく安全に開催できました。 昨年から開催していること、今年は小学校19校、中学校5校への広告も行っていったことから、募集を開始後、早々に満員となりました。 昨年の反省から、同じ子が複数回体験するよりも多くの子ども達が参加できるよう、回数の制限を設けました。</p> <p>2) インストラクター人員 1回あたり8～9名体制＋学生ボランティア。 昨年よりも増員したことにより過不足なく対応できました。</p> <p>3) 参加費用 一回あたりの参加費が500円であることは概ね好評であったと思います。</p> <p>4) 来年度以降について SUPが、子どもたち、親たちからの注目度が高いと改めて感じ、補助金がなく参加費を増額しても参加したいとの意見もありました。 チラシ配布時にも、茅ヶ崎を盛り上げる一つとしてSUPを活用することを歓迎してくださる地域の方々もおられ、海のアクティビティとして継続して行っていきたいと思います。</p>







(年齢別参加者数)

5才	5	11才	19
6才	22	12才	18
7才	8	13才	4
8才	13	14才	8
9才	15	15才	8

うち初心者：41名

茅ヶ崎市内地域別

ひばりが丘	2	松尾	3
旭が丘	2	松風台	3
円蔵	5	松浪	4
下町屋	5	常盤町	4
茅ヶ崎	2	中海岸	4
共恵	7	東海岸南	12
高田	4	東海岸北	6
室田	5	美住町	5
若松町	5	菱沼海岸	2
十間坂	7	浜須賀	2
出口町	3	浜之郷	5
小和田	3	矢畑	11
松が丘	6	柳島海岸	3

今年度は小中学校にまんべんなくポスターを配布したため茅ヶ崎市内地域より参加して下さった。

以下、アンケート結果

① 参加費について

- ・ちょうどよい 60%
- ・もう少し高くてもよい 30%
- ・無料にしてほしい 10%

② インストラクターの数

- ・ちょうどよい 100%

③ コメント（抜粋）

・良い経験をさせて頂きました。スタッフの方々も良心的で楽しく体験出来たようです。来年も是非宜しくお願い致します！

・子供の自信につながり、いつも見られない一面が見られました。ありがとうございます。

・パパも一緒にsupをしたかったようなので、親子sup教室とかがあったら嬉しいです。

・時間が短く子供は物足りなかったようですが、とても楽しかったようで、また機会があれば、参加したいです！

・兄妹で参加させていただきました。兄の担当の方はとても親切に細かく教えて下さったみたいですが、妹の担当の方はほとんど教えてもらえなかったみたいで、全く漕ぎ方など分からなくて、初めてでどうしたらいいか分からなかったみたいです。親も見ましたが、確かに何も声掛けてくれてる感じはなく、凄く娘が楽しみにしていたので、少し残念でした。

・これからキッズが自分でSUPを始めたいとなった場合のオプションなどの情報があるとなお良いです。

・とても楽しいSUP体験でした道具がないと、なかなか体験できるチャンスの無いものなので、ワンコインで体験できたのはありがたかったです。

・体験という事で、気軽に参加できました。とても楽しかったので、またやりたい！と言っています。親子で参加できる機会があれば嬉しいです。今回はありがとうございました！

・安全に楽しく体験出来、感謝です ありがとうございました。

・とても楽しく参加できました。金額も手軽で、何度も参加しやすいです。スタッフの方も楽しい方ばかりな上、人数もかなりいらしたので安心出来ました。

・また来年も参加したいです。

・昨年につづき2回目の参加でした。小4の息子は楽しかったと話しています。

・天候に左右され、大変でしたね。それでも日程変更して設定していただきありがとうございました。ザップを自宅に保管して海まで持って行ってというのが、なかなか厳しいのでこのような体験会はとてもありがたく有意義でした。大人も参加できるとうれしいな…と思います。また来年の企画、楽しみにしています。

・初めは怖がっていた子どもたちでしたがインストラクターの方が付きっきりで付き合ってください、最後にはニコニコ楽しかった！と言っていました。また機会があれば是非参加した

いです。

・少しコツがわかってきたところで終了となってしまって物足りなさを感じていたようです。

・インストラクターの高校生がとても親切で、楽しかったそうです。 また、来年も参加したと言っています。 有難うございました。

・楽しく体験させて頂きました。ありがとうございました。







7がつ にち24にちようび
 (おい) マーのびんきょうしつ
 (なまえ) つちやしずく
 マー、マウはうみでマー、マウにの
 りました。せんせいとのりきました。
 マー、マウはなみにはなれな。たけど
 なれました。なみにゆれてマ、マウ
 よかったです。マー、マウはマウだけ
 どたてるよ、うになれま
 した。のれるよ、うに
 なって、うれしかったです。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 参加費収入	¥70,000	¥60,000	参加費 @500 × 20名 × 6回
2. 団体収入	¥565,050	¥176,934	SUPUで負担。一般SUPスクール等の運営資金から捻出。
3. 補助金収入	¥600,000	¥600,000	市民活動げんき基金補助
	¥1,235,050	¥836,934	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	¥840,000	¥225,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ) 講師料:@15,000 × 5名 × 3日
		¥396,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ) 講師料:@15,000 × 4名(協会派遣) × 6回
物品費	¥44,550	¥44,550	インストラクター用Tシャツ 15枚
印刷製本費	¥18,000	¥18,000	チラシ@20 × 400枚、ポスター@200 × 50枚 (小学校19校、中学校5校)
保険料	¥122,500	¥54,384	三井住友海上レクリエーション保険: 37,038 = 賠償責任保険 5,000 = 参加者の傷害危険保険 12,346 = 予備日分の賠償責任保険
使用料・賃借料	¥210,000	¥99,000	キッズ用ソフトSUP+パドルセット+ライフジャケット @5,000 × 6式 × 3日
	¥1,235,050	¥836,934	

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 BENIRINGO

代表者氏名 共同代表 田中 藍奈
阿部 汐里

令和4年4月1日付け4茅市自第14号で交付決定を受けました「①フリーペーパーの編集・発行②WEBサイトの更新と情報発信」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>①フリーペーパーの編集・発行 ②WEBサイトの更新と情報発信</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>①フリーペーパーの編集・発行</p> <p>[フリーペーパーBENIRINGO6号の発行] 茅ヶ崎の地域課題や環境問題についてまとめたフリーペーパー</p> <p>今回の内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市と寒川町の気候非常事態宣言の周知 ・アルミ缶のリサイクルについて ・日本の衣類廃棄の問題に対する古着の提案 ・茅ヶ崎市の古着屋「Stone Free」の紹介 ・茅ヶ崎市の藍染工房「Saiai studio」の紹介（高校生と一緒に手掛ける特集） <p>発行日：2022年11月13日 発行部数：1500</p> <p>※前回は発行部数を2500部としていましたが、2500部では発行物を配ることに尽力する必要があり、本来情報を届けたい方々や欲しいと思ったださっている方以外にも届いていました。これは情報を届けるという意味では有効だったのですが、その分ごみになってしまう可能性もでてしまいました。そのため、発行部数を減らし、その分HPやSNSに力を入れました。</p> <p>配架先：茅ヶ崎の事業者（40箇所）、公共施設（8箇所）、学校（3箇所）、計51箇所、</p> <p>②WEBサイトの更新と情報発信</p> <p>[ホームページの更新]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOセカンドワーク協会に委託をし、デザインの変更・活動紹介ページの追加・お問合せホームの追加など見やすいホームページにリニューアルしていただきました。 ・以前はフリーペーパーのデータはPDFのみで閲覧可能でしたが、ブログ投稿のように記事を見れるようにすることで、WEBサイトを通じて冊子では届けることができない方にも情報を届けることができるようになった。 <p>ホームページ公開日：2022年9月</p> <p>情報発信の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6号までの過去の記事のWEB記事化（pdfとは別に記事として読めるように編集し掲載）

	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源再生センター取材記事・・・◎ ・enjoy works（鎌倉にて行政と協力しながらまちづくり事業を行なっている企業）取材記事・・・◎ ・IGES（地球環境戦略機関）取材記事・・・◎ <p>※◎の記事は今後フリーペーパーに順次掲載予定</p>
事業の参加者数	<p>①フリーペーパーの編集・発行【5名】</p> <p>②WEBサイトの更新と情報発信【5名】</p> <p>※アクセス数等については、事業の成果と今後の展開に記載。</p>
事業の日程	<p>①フリーペーパーの編集・発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月20日古着屋 Stone Free 取材@Stone Free 店舗 ・7月24日藍染工房 saiai studio 取材@saiai studio 工房 ・7月～10月執筆・レイアウト考案期間、取材先に記事の内容についての確認 ・10月25日デザイン打ち合わせ ・10月各取材先に対し記事およびレイアウトの最終確認 ・11月13日フリーペーパー6号発行 <p>②WEBサイトの更新と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月31日 NPO セカンドワーク協会とオンラインミーティング ・6月27日 NPO セカンドワーク協会対面制作作業@サポセン ・7月13日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング ・8月3日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング ・8月15日 NPO セカンドワーク協会対面制作作業@サポセン ・8月19日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング ・8月26日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング ・9月1日 NPO セカンドワーク協会ウェブ公開 ・9月9日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング ・9月30日 NPO セカンドワーク協会オンラインミーティング

<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>(事業の成果と良かった点)</p> <p>①フリーペーパーの編集・発行</p> <p>配架先を今まで配架していた茅ヶ崎市内の飲食店や雑貨店、商業施設以外にも、市役所や公民館などの行政施設や学校、今まで置いていただいていた店舗にも置いていただくことができ、多くの方の目に留まるきっかけを提供することができた。</p> <p>実際に冊子を目にした人から「何か一緒に活動ができないか」と SNS やメールにお問合せいただいたり、実際に学校や保育園などに呼んでいただいたり、学校で冊子を授業内で取り上げていただく機会が増えた。冊子制作や配布を通じて、地域課題や環境問題についての情報を多くの人に届けることができていることを実感した。</p> <p>②WEB サイトの更新と情報発信</p> <p>以前より活動内容や想いをわかりやすく効果的に記載することができた。具体的な数字で見ると、平均セッション時間（ページ滞在時間）が 2 分 26 秒と一般的なブログの 1 分 30 秒に比べ約 1 分長くなった。この数字から、実際にページを閲覧してくださった方が、記事や情報に関心、興味を持ってくださっている事が分かる。リニューアルにより、ページの充実度を上げる事ができた。</p> <p>またアクセス数に関しては、ページリニューアル前に比べ、リニューアル後にアクセスして下さった数が約 10 倍になった。リニューアル前はアクセス数が平均 20 程度だったものが、リニューアル後は平均 200 程度まで増やす事ができた。これは、フリーペーパーの認知度の向上や、私たちの活動に関して関心を持ってくださる方が増えたことはもちろんのこと、ホームページの存在やホームページでの情報発信の認知がされていると言える。</p> <p>WEB サイトでのフリーペーパーの記事や最新情報の発信を通じて、冊子を手にした人だけでなく、より多くの方に情報を届けることができるようになった。例えば、フリーペーパー2号（100部発行）で掲載したサンビーチカフェの記事を WEB サイトで公開したところ、リニューアル後の閲覧数は 700 回以上となり、フリーペーパーでは届かなかった方などにも届ける事ができた。</p> <p>お問合せフォームを設置したことでお問合せ数が増加した。具体的な事例は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教諭の方から社会科の授業に関する質問や、冊子の利用についてのご相談をいただき、実際に環境問題や社会課題に関する周知にひと役買うことができた。 ・活動内容について関心を持ってくださったメディアの方から WEB サイトを通じて取材の申込みをいただき、冊子やテレビへの出演をさせていただいた。そのことにより、さらに多くの方に活動に対して関心を寄せていただき、WEB サイトの閲覧数も増加した。
--------------------	---

(反省点)

①フリーペーパーの編集・発行

・茅ヶ崎市の気候非常事態宣言を周知するページでは、宣言がされた後に茅ヶ崎市では具体的にどのような取り組みをしているのか、一人ひとりに何ができるかなどの提案を記載することができなかった。

・衣類廃棄問題の改善策として古着コーデを提案する「リサコ」特集では、衣類の廃棄問題の現状について詳しく紹介することができなかった。

②WEBサイトの更新と情報発信

・リニューアルに時間や労力をかけてしまい、想定していたよりもウェブの記事の更新頻度が少なくなってしまった。今後は更新頻度を定め、定期発信をできるようにしていく。

・WEBサイトのリニューアル更新日がフリーペーパーの発行やマルシェ開催時期と重なってしまったため、タイトなスケジュールとなり、NPOセカンドワーク協会の皆さまに負担をかけてしまった。

(今後の展開)

今年度支援していただいたことで、WEBサイトでの情報発信とフリーペーパーの増刷が可能となり、その結果より多くの方に茅ヶ崎の課題や魅力、環境問題について知っていただく機会を提供することができた。

WEBサイトとフリーペーパー使った情報発信は、より力を入れ継続しておこなっていくが、今後はそれと同時に課題や魅力に関心を持った方が、実際に活動している団体や改善や発信につながる事業をされている方と繋がる機会をイベントという形で提供していく。情報に興味を持った方が、実際に想いを行動に移すきっかけをご用意する事で、地域課題や環境問題についてポジティブな動きをより広げていく。

私たちは、情報を発信することで市民の方々への啓発に繋がるよう活動を行ってきた。昨年度の活動の中で、私たちを通じてさまざまな問題に関心を持ってくださった方から、具体的な解決に向けた活動を求めるお声を複数いただいた。また、取材などを通じて繋がらせていただいた活動団体の方々からは、新たなメンバーや参加者の方を求めているというお声をいただくことができた。活動の中で得たそれぞれのニーズを私たちは繋げることができ、その繋がりがこれからの茅ヶ崎の環境をより良くしていくと感じています。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.団体収入	74,428	61,555	団体活動費より充当
2.助成金収入	297,000	243,000	市民活動げんき基金補助(返納:54,000円)
	371,428	304,555	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.委託費	155,000	180,000	webデザイン ¥ 55,000 フリーペーパーデザイン ¥ 125,000
2.通信費	13,200	13,200	サーバー代(2022.4~2023.3) ¥ 13,200
3.物品費	13,805	14,329	アダプター ¥ 8,564(4,282 × 2) 撮影フィルム ¥ 3,300 SDカード ¥ 699 USB ¥ 1,766
4.消耗品費	2,187	1,830	フィルム写真現像代(データ化)
5.印刷製本費	96,236	80,368	フリーペーパー発行費(1,500部) ¥ 53,990 編集ソフト代 ¥ 26,378
6.謝金	70,000	10,000	6号掲載のsaiai studio佐野さんへの謝礼金
7.交通費	21,000	4,828	浜須賀入口~茅ヶ崎駅南口(往復:バス) 浜須賀入口~辻堂駅南口(往復:バス) 辻堂駅北口~矢崎(往復:バス) 辻堂団地~辻堂駅南口(往復:バス) 辻堂駅~茅ヶ崎駅(往復:電車)金額や日程など詳細は別紙、交通費台帳に記載
	371,428	304,555	

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年 3月 31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ふらっと南湖

代表者氏名 代表 松本 素子

令和4年4月1日付け4茅市自第7号で交付決定を受けました「子どもを大切に育むための『子どもの権利』勉強会&地域交流会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

<p>事業名</p>	<p>子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会&地域交流会</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>A「子どもの権利をみんなで知ろう、学ぼう！勉強会」(全6回) ＊勤労市民会館の全てのイベントは13時から準備し、14～16時の2時間でした)</p> <p>第1回「もし、子どもの権利が日本社会に知られていたら」(5/7：10人) ・体験者Rさんの生い立ちの詳細説明とディスカッション ・広島アドボカシーセンター定者弁護士のYoutube を視聴。「子どもの権利」は日本国憲法と同等の価値と効力のある法で、批准時に国内法を整えておくべきだったことを知る。</p> <p>第2回 社会的養護体験者と考える“これからの児童福祉” (6/25：10人) ・体験者Rさん生出演でフロアと直接質疑応答。当事者の発信がこの問題の顕在化と問題解決に大きな役割をもつことを確認した。</p> <p>第3回 里親を知る映画上映と里親子対談 (7/2：18人) ・佐野翔音監督「育ててくれてありがとう」を視聴。血のつながりよりも深い「時間的な繋がり」が大事であることを知る。視聴者の中に涙した人多数 ・後半のディスカッションは、フレンドホームの体験者が登壇し、施設での生活を話す。</p> <p>第4回「子ども権利 with スリフラ(Three Flags)」(8/6：57人) ・当事者発信で活躍中のスリーフラッグスの3人を迎えて、早稲田里親研究会と共同開催。 ・「子どもの権利」について、3人のユースによる体験談と条文を照らし合わせながら説明、質疑応答を行った。</p> <p><アンケート結果から ピックアップ> まとめを添付 ・施設で育った方の話を聴く機会が初めてだったので、明るく発信しているのが印象的だった。 ・私たちも社会資源なのだと思います。 ・血縁より一緒に関わって生活していくことが大事だと思った。 ・半径5mの人を笑顔にする。日常の延長線という言葉。</p> <p>第5回 行政(茅ヶ崎市こども育成相談課)とのディスカッション (10/12：20人) ・社会的養護体験者(男性3人)の話と質疑応答を行った。 ・国の調査:児童養護施設等への入所措置や里親委託等が解除された者の実態把握に関する全国調査報告書(三菱UFJ) の資料提出も行った。 ・11/15はその後のフォローアップとして、行政職員と行政のできる範囲や役割、そして、南湖ハウスのフレンドホーム～ファミサポ活動のいわゆる「ライト級里親」のイメージについて話し合った。</p> <p>第6回 子どもは地域のみんで育てよう！ (3/11：15人) 子どもの権利に関する取組だけでなく、児童養護施設「こどもの園」主任保育士和田靖子さまからフレンドホームの具体的な事例と共に子どもにとっての意義を聴くことができた。</p> <p style="text-align: right;">＊場所は第5回以外はすべて勤労市民会館。</p>

	<p>B地域交流会 子どもは地域みんなで育てよう！</p> <p>B-1,2 南湖ハウスの庭へようこそ！（地域交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月に植えた<u>ジャガイモの収穫</u>を行った。(6/19:大人7人+子ども5人) ・<u>チョコレート</u>を夏と秋休みにランチ付きで行った(子ども 7/28:6人,10/11:5人). ・庭に花を植えるのは、随時天気を見ながら行い、地域の方も持ち込んでくれている。 ・子どもの第三の居場所になるには、それ以前に親を含めた大人が安心できて楽しい場所であることに気づく。<u>手芸&井戸端会議</u>(12/7,1/11,2/8,3/8 各5人程度)、<u>持ち寄りお食事会</u>(5/13,6/9 各5人程度)、<u>お料理教室</u>(4/27, 1/20各5人程度)などを開催し食を囲んで楽しく安心なコミュニティが作られつつある。 ・防災&災害食料理教室(3/21:親子4組、大人+子ども=13人) <p>*当ハウスは住宅地にあるため、庭で遊ぶ子どもたちの声元で近隣トラブルにつながる恐れもある。そのため地域との円滑な関係性づくりの大切さを再認識し、実行に移していくことで「地域で子どもを育てていくこと」を実践していきたい。</p> <p>B-3 年末年始 お正月と里帰り「ゆっくり会って、お話しよう」</p> <p>里子たちとは、それぞれの仕事もあり、ゆっくり話をする機会は少ないが、今年は活動も忙しかったので、スタッフ、ユースたちと誕生日会&忘年会を行った。ケーキや食事手作りし会場に運んでカラオケ付きで楽しんだ。(会場:しおさい南湖、12/17:来客、スタッフ 計8人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正月はユース(里子兄弟)が12/30~1/9まで里帰り。9日の成人の日は里子が20歳なので、着付けを手伝い、見送った。 ・「湘南学習のススメ」の縁造さん講師で、お金の勉強をボードゲームを使って学ぶことができた。コラボ勉強会は来年度につながる取り組みである。(1/4:6人)
事業の参加者数	A（子どもの権利）135人 + B（地域交流）101人＝236人(延べ)
事業の日程	<p>実施内容に記載。ここでは、写真を提示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>5/7開場前と展示物(紹介本)</p>



6/25 当事者Rさんの話



7/2 映画上映と里親子対談



8/7 スリーフラッグスと



10/12 こども育成部



3/11 子どもの園 和田様のお話



3/21 防災&災害食料理教室



チョークアート



ジャガイモ収穫祭

事業の成果と今後の展開

前年度と今年度の比較では、

- ① 参加者が30数名だったのに対し、延べ参加者が230人を超えたのは一つの成果だと思うが、まだまだ発信力の不足を感じる。今年度は、南湖ハウスから外に出て他団体の関係性を持つとしたことが大きかったと思うので、来年度もさらに他団体の活動に関心を持ちながら協働することをしたいと思う。市内で言えば、チガラボやサポセン、Cの辺り、とまり木さんなど、場所(拠点)のあるところや、広報ちがさきや新聞雑誌でも取り上げてもらったが、来年度も適切にマスコミにも発信していきたい。
 - ② 「子どもの権利への理解」については、茅ヶ崎市に「子ども条例」ができて、アドボカシー分野で南湖ハウスのスタッフが役立てればと考えている。今年度は、市議会議員と様々なところで密に会う機会もあり、市議選後もつながりを持ちつつ、活動を前に進めたい。
 - ③ 市民参加者から「部分最適と全体最適の視点」を学ぶことができたのは今年度の活動で最も大きな認識と言える。大人になると、日々の生活の中で流され、大事なことを忘れ、いつの間にか本来の「目的(幸せであること)」よりも「(なければならぬ)手段」がゴールになりがちである。大人はよくよく意識と反省しながら物事を進める必要がある。
 - ④ 「ライト級里親」の啓発については、今年度から初めて始めた「ファミサポ」を松本が体験する中で、親のサポートの大切さと必要性を認識した。特に一人親の場合、「子育ての全てと経済を一人でこなすのは無理がある」ファミサポ制度をさらに深化させ、「地域で子育て」の考えの普及で、泊りもできるファミサポ、社会的養護とは限らないフレンドホームが制度として定着すれば、地域に安心が広がり、少子化対策の一つにもなるのではないかと思う。
フレンドホームの推進については、子どもの園には毎月ボランティアに訪れ、関係づくりをしつつ、協働してゆきたい。ボランティアの心得・役割には、先駆性、行政の手が届かないところへの補完的役割があると書いてあり、市民の日々感じることに行政人も耳を傾け、人間債や感性のある業務遂行をお願いしたい。
- * 茅ヶ崎のショートステイは施設と聞いている。日ごろから利用していれば怖がらずに利用できるが、普段施設が開かれていなければ、子どもにとって、一人で初めて泊まることは恐怖でしかない。子どもの気持ちに寄り添った普段的な関係づくりが大事である。
- ⑤ 今年度は新たな出会いから、理学療法士の宮崎さんとのコラボイベントが10月と12月に行なわれた。遠方の川崎や藤沢からも来ていただき、ランチ付きでママたちはホッとしてもらえて、こちらの活動にも関心を持ってもらえた。(親子3組ずつ)次年度も引き続きすることとなった。

なお、今年度事業計画の評価と期待の中に「発信や広報」に関しての必

	<p>要性については、6月に会ったビデオ制作者に活動紹介ビデオを作ってもらい、また、冊子については、地域のライター、イラストレーターなども関わってもらい、わかりやすいものができあがった。同様にHPの更新を進める。コラボイベントを開催する中で南湖ハウスの活動広報をしつつ、楽しみながら「お互い様にフラットに学びあうこと」ができる次年度にしたい。子どもの幸せ(福祉)は、大人の幸い。立場もフラットに協働したい。</p>
--	---

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1 団体収入	67,240	71,355	会費、団体への寄附等、団体資金から充当
2 事業収入	8,000	2,500	参加費 500円×5人(ジャガイモ収穫祭)
3 補助金収入	298,000	295,000	市民活動げんき基金補助(返納3,000円)
合 計	373,240	368,855	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	160,000	110,000	2022/5/7 ¥20,000
			2022/6/25 ¥20,000
			2022/8/6 ¥20,000×3
			2023/3/11 ¥10,000
旅費	27,000	16,280	スタッフ交通費 交通費台帳参照
物品費	36,200	32,003	★用紙:A4カラー500枚入(822円×8+767×3=8,877)
			マスク 877円(消毒液はサポセンより支給)
			文具(付せん・マジックペン・ノート・USBなど)4,942円
			インク代(5478+3677+5349=14,504円)
印刷製本費	37,400	142,622	★南湖ハウス通信等印刷代 8,977円
			★冊子制作代 128,470円 (執筆44,000、イラスト44,000、デザイン・印刷40,470)
			★勉強会の広報チラシ1000枚(4434)、活動広報カード100枚(741) 計5,175円
通信運搬費	28,000	5,090	郵便料金(送料)2,690円
			★冊子配布送料 2,400円
使用料・賃借料	55,000	55,000	「育ててくれてありがとう」映画レンタル料
	29,640	7,860	勤労市民会館研修室 賃借料(5回)
合 計	373,240	368,855	

ふらっと南湖 令和4年度の決算報告

10/12の活動を知ってほしい市役所職員研修(行政との協働)が認められなかったため、謝金や交通費のすべてが団体からの出費となった。冊子制作はイラストレーター、デザイナー、ライターさんなどの力が必要だったので、当初予算より増えたが出来上がりは満足のいくものだった。地域との関係性も出来た。また、予算には入れていなかったが、活動を分かりやすく解説した動画も制作した(5万円ほど)。

参加者 57名(ゲスト・スタッフ含む)
アンケート回答数 31名(イベント参加のきっかけ:知り合い・メール(15),SNS(7),チラシ・新聞他(9))

Q1. Three Flags の話を聴いて、印象に残ったことは？

- ・施設で育った方の話を聴く機会が初めてだったので、明るく発信しているのが印象的だった。
- ・育ち方に関係なく、人と人とのささやかな繋がりが世界をもっと温かくすると思った。
- ・当事者からの発信の力を感じた会だった。
- ・社会的養護のその後を知る機会が無かったが、スリフラのように生きがいに満ちた大人になることを心から願う。
- ・ポジティブなものを発信しているのが素晴らしいと思った。
- ・個人的な感情を話していただけて良かった。
- ・カウンセラーが足りないとの話が気になった。
- ・今の日本で、自分と周りの人々が笑顔でいられるのか、見直すことが大切。
- ・私たちも社会資源なのだと思います。
- ・「(心の)揺らぎ」を正直に話してくれた内容が良く、もっと聞きたかった。
- ・とても興味深かった。血縁より一緒に関わって生活していくことが大事だと思った。
- ・「どのように関わり育てていくか」が子どもの人生に大きな影響を与えることがわかった。
- ・子どもの権利
- ・「虐待は保護されたらおしまいではない」という言葉がとても印象に残った。今までは保護されたら安心・解決というイメージを持ってしまっていた。
- ・心や体のキズをどのように癒し、治すのかという当たり前に気づかされた。
- ・大人が本気を出せば変わる。
- ・半径5mの人を笑顔にする。日常の延長線という言葉。
- ・小さな気づきがその子の人生、生死さえも変える。
- ・大変明るい前向きな話をうかがい、これまでの虐待経験者のイメージが少し変わった。
- ・社会人として未熟な人間が児童養護出身者であるという認識だけではないことがわかった。
- ・YouTubeを見ていたので、そのまんまという印象。とてもポジティブな印象でした。
- ・実体験の話を正直に話され、うかがえて良かった。
- ・子どもの支援をする仕事なので子どもの想いを大切にしたいと思った。
- ・山本さんの「親と引き離されない権利」とブローハンさんの国籍取得の話。
- ・189につなぐということだけでなく、小さなことであってもその瞬間を助けてくれたことが当事者の心に残るという話。
- ・「心の家族」「全ての人当事者」「大人が本気になれば成し遂げられる」が刺さった。
- ・皆さん本当に良く考え勉強し、努力していてすごい！中でも「感謝」という気持ち受け取ってます。
- ・日常の中で、当事者の話を聴くことが無かったので、社会的養護が必要な若者に対する制度を考える時の参考にしたいと思う。
- ・誰がキーパーソンになるのか。

- ・子どもに対して、押し付けないでただ受け入れる。じっと待つ。支援者の連携。その子のその瞬間を助ける。
- ・ACHA の「死にたいと思う人に生きていてよかった」と思えるような取り組みをされていることが印象に残った。光となるような活動を続けてください。
- ・3人とも大変な過去だったと思いますが、自分と周りの人を笑顔にすることに全力で取り組んでいる姿勢に胸を打たれました。
- ・自分には虐待された経験はないが、生きづらさを感じている人に対して何かしたいなと思った。
- ・「神様は自分の願いを聞いてくれなかった」という話もありましたが、一緒に苦しんでくれたのだと思います。なぜなら、今を活かしているから。自分を愛し、信じたから今があると思いました。
- ・施設で育ってよかったと聞いた事が印象に残った。
- ・3人の方がこれまで関わってきたいろいろな方々への感謝の言葉を語られたことに、一人の支援者として大きな希望を感じました。本日はありがとうございました。
- ・皆さまのつらい体験が温かな大人との出会いで辛いままで終わらず、同じ立場に置かれた方々に大きなパワーを与えられるようになったことは、やはり、神様のお陰だったように思います。

Q2. 感想&Three Flags へのメッセージ

- ・ご苦労を力に変えられた3人はかっこいいです！
- ・これからの活動に大いに期待しています。今後がんばってください。
- ・YouTube 見ます！ チャンネル登録します！
- ・これからも発信してください。当事者として声をあげて欲しいです。
- ・継続支援の大切さを知りました。
- ・このような講演会は初めてでしたが素晴らしい会でした。また参加したいです。
- ・今日の素晴らしいキセキの時間をありがとうございました。
- ・自分らしく生きていて本当に素晴らしい。皆さんの魂がすごく成長されて大人の私の方が子供。
- ・初めの大きな一歩を踏み出してくれたことに感謝します。
- ・小さなことが成せないのであれば大きなことを成せないと思っています。
- ・大人は子どもに試されていると感じます。
- ・これからも子どもと大人をつなぐ活動を応援します。
- ・里親をしたいと思っています。なかなか一歩が踏み出せずにいますが、参考になることが多く聞けて勇気ができました。これからも頑張ってください。
- ・里親のことが知れてよかった。
- ・実体験からの話はとても勉強になった。社会的養護という言葉を知れてよかった。
- ・3人が社会的養護の課題をととてもポジティブに伝えてくれて、楽しみながら考えさせられた。参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・これからの活躍を応援します。
- ・有意義な時間をありがとうございました。
- ・素晴らしい活動で応援したいです。
- ・前向きな姿勢を見習いたいです。
- ・行政で日々社会的養護に至らない困難を抱えた子どもに向き合っていますが、今回の話でヒントをいただいた気がします。

- ・今日はスリフラの皆さんに直接会えて生のお話を聴けて本当に良かったです。
- ・当事者だからではなく、人として「やるべきことを目指す」「伝えたい」という想いが伝わった。
- ・施設を運営していますが、卒園後の子どもたちが心配です。
- ・虐待の経験をした子どもや若者の支援は、おそらく専門的な治療プラス、長期的な繋がりが必要なのだと感じました。
- ・里親です。縁組した息子の養育にも大変勉強になるお話でした。
- ・3人とも現状を鋭くよく観察されていて、表現力もすごくて優秀な方々だと思います。質問に即答できるのも立派なことです。発言者の存在の大切さを実感できました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。社会的養護に関する知識を深めることができました。とても難しい問題だと思いますが、一人でも多くの人に皆さんのお話や子どもの権利が広がると良いと思います。当事者だけでなく、全員が当たり前のように知っている未来になってほしいです。
- ・今日まで社会的養護をネガティブな印象を持っていましたが、3人のお話で良い印象に変わりました。これからも世の中の印象を変えて欲しい。応援しています。
- ・3人のそれぞれのメッセージはとても心に響きました。活動に注目していきたいと思います。
- ・厳しい環境に生まれたであろうと推察してきましたが、とてもポジティブに考えられ、生きてこられたことに敬意を表します。今後も周囲を巻き込むパワーを大いに発揮してください。
- ・出来る出来ないは色々でもマザーテレサの「無関心」が一番さびしいことだと思いました。
- ・子どものことは子ども自身に聞く。
- ・このような機会を作ってくれてうれしいです。
- ・社会的養護についてあまり馴染みがなく、どこか他人事として捉えておりましたが、登壇者3名のお話とお人柄に引き込まれ、あっという間の2時間でした。3名とも自分と年齢も近く色々と感じるものがありました。質疑応答についても、社会的養護に対する皆様の関心が伺え、まだまだお話を聞いてみたかったなと感じています。
- ・体に気を付けて益々多くの方々にたくさんのパワーをさし上げてください。ご活躍をお祈りいたします。

Q3.茅ヶ崎での里親説明会への参加

参加したい 5 参加を検討する 11 参加しない 5(遠い)

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 特定非営利活動法人こども応援丸
代表者氏名 理事長 森 浩之

令和4年4月1日付け4茅市自第3号で交付決定を受けました「鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>これまで西浜中、鶴が台中、梅田中で実施してきた中学生への学習支援を鶴嶺中で新たに開始した。学校を通して全ての生徒に参加の呼びかけを行い、週1回のペースで学習会を開催した。</p> <p>（日程） 9月14日より毎週水曜日、19時～21時で学習会を開催</p> <p>（場所） 鶴嶺公民館</p> <p>（参加者） 鶴嶺中学校生徒及び学習ボランティア</p> <p>賛助会員募集およびボランティア募集チラシを作成し、市役所や図書館、各公民館などに配布した。</p> <p>ホームページを作成し、これまでの活動実績や現在の活動状況などを掲載した。</p>
事業の参加者数	下記に記載の通り
事業の日程	<p>9/14 生徒10名、学習ボランティア6名、計16名参加</p> <p>9/21 生徒11名、学習ボランティア6名、計17名参加</p> <p>9/28 生徒8名、学習ボランティア6名、計14名参加</p> <p>10/5 生徒13名、学習ボランティア5名、計18名参加</p> <p>10/12 生徒11名、学習ボランティア5名、計16名参加</p> <p>10/19 生徒17名、学習ボランティア8名、計25名参加</p> <p>10/26 生徒15名、学習ボランティア8名、計23名参加</p> <p>11/2 生徒16名、学習ボランティア7名、計23名参加</p> <p>11/9 生徒17名、学習ボランティア8名、計25名参加</p> <p>11/16 生徒18名、学習ボランティア6名、計24名参加</p> <p>11/23 生徒13名、学習ボランティア6名、計19名参加</p> <p>11/30 生徒18名、学習ボランティア6名、計24名参加</p> <p>12/7 生徒15名、学習ボランティア9名、計24名参加</p> <p>12/14 生徒16名、学習ボランティア7名、計23名参加</p> <p>1/11 生徒15名、学習ボランティア7名、計22名参加</p> <p>1/18 生徒13名、学習ボランティア9名、計22名参加</p> <p>1/25 生徒13名、学習ボランティア9名、計22名参加</p> <p>2/1 生徒21名、学習ボランティア9名、計30名参加</p>

	<p>2/8 生徒21名、学習ボランティア6名、計27名参加 2/15 生徒16名、学習ボランティア7名、計23名参加 2/22 生徒19名、学習ボランティア6名、計25名参加 3/1 生徒8名、学習ボランティア7名、計15名参加 3/8 生徒12名、学習ボランティア6名、計18名参加 3/15 生徒20名、学習ボランティア9名、計29名参加 3/22 生徒18名、学習ボランティア6名、計24名参加 3/29 生徒14名、学習ボランティア4名、計18名参加</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>(事業の成果) 開始当初は参加生徒数が予想よりも少なめであったものの、生徒、学習ボランティアともに徐々に増えていった。検温器や飛沫防止シートなどの利用で新型コロナ対策を行い、学習会で新型コロナに感染した事例は1件も報告されなかった。</p> <p>ホームページに学習会の様子を掲載することによって、保護者の方たちとの情報共有が図られた。</p> <p>(課題) 参加する生徒の数が増加していく一方で、学習ボランティアの数が中々増えていかない。子どもたちを支えてくれる地域の大人たちの参加を広く呼びかけていく必要がある。</p> <p>(今後の展開) 4カ所の学習会が軌道に乗ったところで、更に学習支援を実施する学校を増やしていきたい。</p>



収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	¥31,245	¥34,080	
補助金収入	¥123,000	¥123,000	
	¥154,245	¥157,080	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
委託料	¥50,000	¥50,000	ホームページ作成委託料
物品費	¥91,245	¥93,010	サーキュレーター3個 19,638円 飛沫防止パーテーション 16,500円 非接触式検温器 45,500円 アルコール消毒液 1,546円 教科書一式 7,626円 ホワイトボード及びマジック 2,200円
印刷製本費	¥13,000	¥14,070	賛助会員、ボランティア募集フライヤーチラシ
	¥154,245	¥157,080	

第10号様式（第17条関係）

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	非接触式検温器	8/28	45,500円
	使用方法		
	学習会会場入口に設置し、毎回参加者の体温を測定した。		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 わんにゃんマルシェ実行委員会
代表者氏名 古知屋 友里

令和4年4月1日付け茅市自第15号で交付決定を受けました「いのちの教室（仮）in わんにゃんマルシェ」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>いのちの教室（仮）in わんにゃんマルシェ</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>「①いのちの教室」</p> <p>わんにゃんマルシェの根底にある動物愛護の考え、「なぜ保護犬保護猫がいるのか、なぜ捨てられる命がなくなるのか、動物を飼うということ、私たち一人一人が考えるべきこと」をプロクオリティ動画として作成していただき、それを実行委員が持ち回りで「いのちの教室」として開催。動画を見てもらい実行委員から詳しい説明をし、参加者さんからの質疑応答に答える形です。</p> <p>9月29日：鶴嶺高校ボランティア塾にて 生徒128名参加</p> <p>11月6日：イベントわんにゃんマルシェ内にて動画上映 参加人数約30名</p> <p>2023年1月：YOUTUBEチャンネル開設 公開</p> <p>2023年3月6日～26日：茅ヶ崎サポセン開催の「こどたん+2023」特設サイトにて動画紹介</p> <p>広報活動はチラシを制作、イベント会場内で配布。 またわんにゃんマルシェHPとSNSにも掲載しました。</p> <p>「②わんにゃんマルシェ」</p> <p>毎年開催している動物愛護の啓発活動のためのチャリティイベントです。</p> <p>11月6日：10：00～15：00 第一カッターきいろ公園にて開催 参加保護団体 10団体 キッチンカー 12台 物販出店 12店舗 保護団体による譲渡会・犬のしつけ教室・ 飼い主さんのマナー教室</p> <p>広報活動はポスター、チラシを制作。市の掲示板に掲示していただいた他、市内の店舗さんにおいてもいただきました。またわんにゃんマルシェHP、SNSと参加団体さん、参加出店者さんの各SNSでも掲載拡散していただきました。</p> <p>（① ②ともチラシ別途添付いたします）</p>
<p>事業の参加者数</p>	<p>① 約150名 ②約1500名（譲渡会入場者842名・フリー会場の来場者・参加団体・出店者・運営スタッフ含む）</p>

<p>事業の日程</p>	<p>① 2022年9月29日 13:30～15:30 2022年11月6日 イベント開催時に3回の動画上映会 2023年3月6日～26日 こどたん+2023特設サイトにて</p> <p>② 2022年11月6日 10:00～15:00</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>令和4年度は新型コロナウイルスも少し収まり、各種イベントもいろいろ開催され世の中が動き出した感じがしました。イベント「わんにゃんマルシェ」に関しては、今年度も前回同様保護犬保護猫の譲渡会を中心としての開催となりました。開催時期の11月にはコロナによる制約もだいぶ少なくなりキッチンカーや物販の出店者さんも増え、コロナ以前のイベントに近くなったような気がします。当初の予定通り11月に開催することが出来、お天気にも恵まれたたくさんの方にご来場いただきました。</p> <p>コロナ対策として、譲渡会場のみを区切って入り口を設け一度に入場できる人数を制限、また会場入り口での消毒にご協力いただきました。前は会場に入るために待つ人で列が出来ていたのが、今回は入場入り口での検温と名簿の記入が不要とのことで、入場時の混雑も緩和されスムーズな人の動きとなったと思います。事前にHPやSNS等でご自宅での検温のお願い、体調に不安のある方は参加をご遠慮いただくようお願い、会場内でのマスク着用をお願いなどを告知、感染予防へのご協力を徹底いたしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



*会場内の様子とイベントポスター

前回同様保護犬保護猫の譲渡会会場のみ入場料(小学生以上おひとり100円)をいただき、キッチンカー、物販ブースは入場自由としました。今回も譲渡会会場では入場料をいただくこと、コロナ対策にご協力いただくこと、キッチンカー等での買い物後にでたゴミは各自持ち帰ってもらうこと、ペットを連れてのご来場時のマナーの厳守にご協力を仰ぎ、ご来場の皆さまほとんどの方がきちんとルールを守ってイベントを楽しんでくださり、大きな問題もなく無事イベントを終了することが出来ました。

今回のイベントでの寄付金総額 150,200円

入場料：84,200円

出店料の半額：66,000円

参加団体10団体に寄付

(たんぽぽの里、にゃん幸、寒川ねこ倶楽部、しっぽ村
キャットセカンドライフ赤い毛糸、湘南1レーベン、
ボーダーコリーレスキュー、三崎動物保護センター
アニプロ、CCP)

譲渡会実績(トライアル含む)

犬：8匹

猫：1匹

(猫の生体の譲渡会参加数が少なかったため、実績数も少なくなっています。)

イベントの開催に向けて準備をしつつ、今年度はげんき基金の補助金にてハッピーフィルムズ様にご協力いただき、「いのちの教室」の動画を作成いたしました。

動画作成の目的は、「いのちの教室」として私たちの動物愛護への思い、活動を知ってもらうこと、また保護犬保護猫のボランティア団体さんへの理解、動物を飼ってる、またはこれから飼いたいと考えている皆さんに「命を飼うこと責任」を改めて考えてもらうきっかけになればと考えました。動画撮影には神奈川県動物愛護センター、寒川町、市内保護ボランティア団体にご協力いただきました。

出来上がった動画は、鶴嶺高校の「ボランティア塾」にて生徒さんに向けて公開。動画視聴後に団体さんの補足説明や質疑応答の時間を設けました。128名の生徒さんに参加いただき生徒さんからの質問感想からも動物愛護への関心の高さをうかがい知ることが出来、私たちにとってもとても貴重な体験となりました。



* 画像は動画のワンシーンです。

またイベント「わんにゃんマルシェ」の会場の公園内の休憩所を使い上映会を開催。3回の上映でのべ30名ほどの方に動画をみていただくことが出来ました。上映会場である休憩所に一度に入れる人数が少なかったこと、上映時間が限られたこともあり、イベント来場者数からするとそれほどたくさんの方に見ていただくことは出来ませんでした。興味を持っていただけた方が少しでもいたことは確かです。

クオリティの高いとても素晴らしい動画を作成していただき、その後も動画に関するお問い合わせも多かった。「わんにゃんマルシェ」のYOUTUBEチャンネル (<https://youtu.be/8Ei8TkVncSQ>) にアップ、どなたにも見ていただけるようにしてあります。まだ再生数はそんなに伸びていませんが、これから広報活動し広げていきたいと思います。

3月にはサポセン茅ヶ崎さんの「こどたん+2023」のサイト内にて動画紹介のコーナーに載せていただきました。

3月12日の実開催のイベント時にも会場内のモニターで動画紹介もしていただきました。

今後の展開と課題として

今年度計画していた「いのちの教室」の開催が、運営スタッフの体調不良での入院、家族の介護等、不慮の出来事で動ける人員の数が少なくなってしまい当初の計画通りに開催できなかったことが反省点です。が、市内学童、養護学校からの開催依頼も受けており、また動画に関するお問い合わせ等も入っているので引き続き来年度も「いのちの教室」の開催を続けていきたいと思えます。

イベント開催に関しては、今年10回目となりコロナ下でのイベント運営のスキルも身に付き、今後も年に1度の開催を計画していきたいと考えています。ただ少ないスタッフで継続していく難しさも毎回感じていて、リアルに動物たちと触れ合える大きなイベントだけでなく、小規模なイベントやオンラインでの発信、SNSを使ったライブイベントなども企画していきたいと考えています。また応援してくださる方を募って運営の強化もしたいと思えます。

今回動画制作しただけでなく、自分たちでイベントの様子を動画撮影しインスタグラムに掲載しました。いのちの教室の巡回や動画配信、ライブ配信は引き続き来年度に継続させていこうと思っています。そのための運営スタッフの募集も併せて来年度への課題としていきます。

私たちの活動は継続し続けることに意義があると思っています。もし仮に大きなイベントが出来ない事態となっても、いろんな形でいろんな手法で私たちの動物愛護の根底にある「その動物の命に責任を持つ」という考えを発信し続けていきたいと思えます。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
出店料	90,000	132,000	キッチンカー出店料8,000円×12 物販出店料3,000円×12
入場料	50,000	84,200	おひとり100円×842人
団体収入	45,170	990	運営費より
補助金収入	303,000	259,000	げんき基金より(返納44,000円)
	488,170	476,190	

支出

(接続紙)

科目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	70,000	50,000	②当日受付5000円×5 会場整理5,000円×5
謝金	10,000	0	
旅費	17,000	9,380	②市内18名交通費6,680円 市外2名交通費2,700円
物品費	58,550	41,740	①②ビデオカメラ39,800円 ①②コピー代1,940円
印刷製本費	29,000	23,790	①いのちの教室チラシデザイン料5,000円 印刷代150部3,000円 ②イベントチラシポスターデザイン料10,000円 印刷代2000部5,790円
通信運搬費	7,400	7,030	②出店者・参加団体へのチラシ郵送料370円×19
使用料・賃借料	36,220	29,050	②公園使用料26,250円 ②サポセン備品使用料(テント・テーブル。椅子)2,800円
動画制作費	165,000	165,000	①動画制作料
寄付金	95,000	150,200	10団体 (入場料+出店料の半額から)
合計	488,170	476,190	

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	ビデオカメラ	2022/11/1	39,800
	使用方法		
	「いのちの教室」開催時の動画撮影と配信用WEBカメラとして使用		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。

2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。

3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。



地域最大級 [保護] 犬猫チャリティーイベント!
殺処分ゼロを目指す各保護団体への応援寄付活動

第10回

わんにゃんマルシェ

場所：茅ヶ崎市中央公園 (第一カッターきいろ公園)

日時：11/6 (日) 10:00 ~ 15:00

入場料 (譲渡会)：100円 (小学生以上)

動物愛護を知ってもらい、保護ボランティア団体の活動をあと押しします! ⇒犬猫と会いましょう!

犬猫譲渡会

犬のしつけ教室

飼い主さんマナー教室

わんにゃんマルシェとは

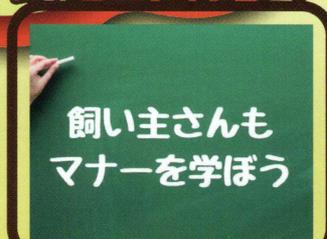
動物 (ペット) についての現状を広く知ってもらうとともに、保護犬保護猫のボランティア団体への寄付を目的としたチャリティーイベントです。



「詳細はホームページやSNSでお知らせします」



飼い主さんもマナーを学ぼう



いのちの教室

by わんにゃんマルシェ

「いのちの教室」



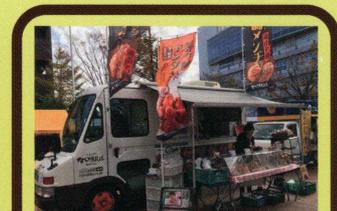
物販

動画上映 ワークショップ



わんにゃん

ミュージック



ゴミもお持ち帰りください

キッチンカー

感染症対策

マスク着用 手指の消毒 ソーシャルディスタンス

ご自宅で検温のうえでのご来場を御願いたします。発熱、体調不良の際には、ご来場をお控えください。

主催：わんにゃんマルシェ実行委員会

後援：茅ヶ崎市

協力：大栄建設工業株式会社 / 藍プランニング株式会社 / 湘南 1 Leben

ポスターデザイン：能伊写真映像事務所

このイベントは、茅ヶ崎市市民活動げんき基金の補助により実施しています。同伴のわんちゃんの排泄物の持ち帰りなど、マナーを大切にこ来場ください。

<https://wannyan-marche.net/>

わんにゃんマルシェ

検索

ボランティアスタッフ募集中!

いのちの教室

byわんにゃんマルシェ



ホームページ



WANNYANMARCHE

INSTAGRAM



FACEBOOK

わんにゃんマルシェでは動物愛護の啓発活動として「いのちの教室」の動画を製作しました。学校の授業で、公的な場所での学習会で、動物関連のイベントで、多くの方に見ていただきたいと考えています。「いのちの教室」を開催するにあたり開催場所を募集しております。詳しくはホームページをご覧ください。

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 一般社団法人4H e a r t s

代表者氏名 代表理事 那須 かおり

令和4年4月1日付け4茅市自第19号で交付決定を受けました「スローコミュニケーションプロジェクト」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名

スローコミュニケーションプロジェクト

事業の実施内容

※実施方法、場所等を具体的に記入してください。

1. スローコミュニケーションマガジン 今までの活動を統括した、茅ヶ崎発のウェブサイト制作



BtoC企業や接客サービス現場での情報コミュニケーションバリアに対する取り組みの、良好事例キュレーションサイト。

社会の中で情報コミュニケーションバリアに取り組むことが、個人価値から企業価値・CSRにもなるよう、ブランディングしていきたい。

SNS (Facebook・Instagram等) やメルマガでも広く周知している。



サイト制作費用の中には、トップに流れるムービー撮影費用も含まれる。茅ヶ崎館を舞台に撮影した映画「3泊4日、5時の鐘」が、国際映画祭で作品賞を受賞された、三澤拓哉監督に撮影して頂いた。

市内の居酒屋を営業前に特別にお借りして、ろう者を主人公に、多様な特性のある人たちがコミュニケーションをとる様子を撮影。店員役にはプロの俳優に演技をいただき、スローコミュニケーションプロジェクトの本質を伝える動画になっている。

サイト制作にあたっては、月に1度、NPO法人セカンドワーク協会、株式会社ボンド、ライターの森岡悠翔さんと打ち合わせ実施。



2. スローコミュニケーションダイアログみみここカフェ 22年度 偶数月開催（延べ28人参加）



手話通訳2名と、株式会社リコーの音声認識Pekoeの情報保障を毎回、配置している。

音声認識の提供と誤変換の修正対応を、株式会社リコーの社員にご協力いただいた。

3. スローコミュニケーションラボ 共同研究・マーケティング・選挙受付用ボード

（指差しメニュー、コミュニケーションボード用ラミネート）
今までは雄三通りを中心に活動していたが、今年度はさらに発展して2022年8月から10月にかけて、神奈川大学人間工学研究室、大和リース（株）、まちづくりスポット茅ヶ崎、（株）ピクシーダストテクノロジーズのご協力の元、茅ヶ崎市内の各施設（BRANCH茅ヶ崎内店舗）での音声認識機器の設置実証を行った。

また、10月11日には茅ヶ崎市役所1階市民ふれあいプラザで、相談会を実施。市民にアンケートにご協力いただいた。

NPO法人サービスグラントの、NTTドコモグループ社員のプロボノ

チームには、BtoC企業への接客サービス改善についての実態とマーケティング調査を実施していただいた。

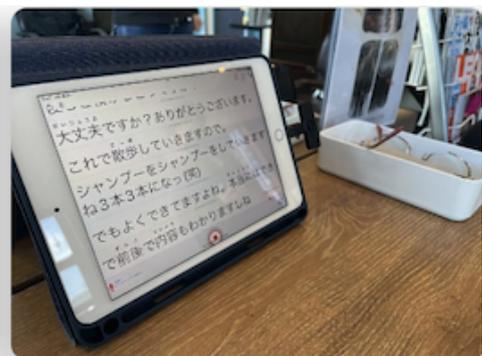
2022年9月に実施した図書館でのイベントを、NPO法人2枚目の名刺の社会人プロボノに、パッケージ化を支援いただいている。

22年10月には茅ヶ崎市長選があり、選挙受付のコミュニケーションボードを提供。23年4月の統一地方選でも導入予定。

これらのアンケート・マーケティングデータを踏まえた、接客サービス現場でのコンサルティング事業や、指差しメニュー・コミュニケーションボード開発に着手。
そのためのラミネート加工費。

雄三通りの切尔西ヘア（美容院）でコンサルティングを実施。下記の通り、コミュニケーションボードや音声認識アプリを活用して聞こえない・聞こえにくいお客様とスタッフとのコミュニケーションをデザインするコンサルを実施。

The image shows two panels of communication boards designed for a hair salon. The left panel contains several sections: 1. A sign saying 'いらっやいませ。お荷物をお預かりします。' (Hello, we will accept your luggage.) with an illustration of a person holding a basket. 2. A sign saying 'マスクを外してこちらにお入れください。' (Please remove your mask and place it here.) with an illustration of a person removing a mask. 3. A sign asking 'お店の中は寒くないですか 暑くないですか?' (Is it not cold in the store? Is it not hot?). 4. A sign asking '本日はどのようにいたしますか?' (How would you like to be served today?) with three options: 'カット' (Cut), 'カラー' (Color), and 'パーマ' (Perm), each with a corresponding illustration. The right panel contains: 1. A sign saying 'これから頭を流しますので何かあれば合図をしてください。' (We will wash your hair from now, so please give a signal if there is anything.) 2. A sign asking 'お湯の温度は大丈夫ですか?' (Is the water temperature okay?) with five icons representing different temperature levels. 3. A sign asking 'ちから加減はどうですか?' (How is the strength?) with a rainbow arrow indicating a scale from '弱くしてほしい' (I want it weak) to '強くしてほしい' (I want it strong). 4. A sign asking '気持ち悪いところはないですか?' (Is there any uncomfortable spot?) with options '流したりない' (Don't wash), 'かゆい' (Itchy), and 'いたい' (Painful). 5. A sign saying '椅子を起こしますね。' (We will raise the chair.) with an illustration of a person raising a chair.



	<p>会、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所、茅ヶ崎市社会福祉協議会。</p> <p>動画撮影は(株)メディア・ケイフォームに依頼。字幕、ナレーター、手話通訳ワイプも挿入しての紹介動画となった。</p> <p>23年度、茅ヶ崎市役所1階大型スクリーンにも流していただける予定。</p> <p>ワークショップ運営・レポートボランティア交通費</p> <p>月1回、まちづくりスポット茅ヶ崎でワークショップを実施。「サイレントアート」「サイレント書道」運営ボランティア。前半はヘッドフォンを活用した聴覚障害体験、後半は「声を出さない」というルールのもと、アートや書道を通して越境コミュニケーションを体感するもの。</p> <p>活動を広げていく中で、4Heartsに監事と事務局が増え、さらに運営を手伝っていただく事務局ボランティアが加わった。</p> <p>5. スローコミュニケーションキッチン</p> <p>茅ヶ崎駅南口の飲食店をお借りしてチャレンジキッチンを実施。22年6月の1周年を機にランチ提供を終了。以降は月1回お借りしての夜間提供に切り替え。</p> <p>マンパワーと事業のバランスを考えた時に、手が回らないのと、企業研修提案営業フェーズに入ったため、事業優先順位を付けて研修・講演に集中する。今後、また再開したい。</p> <p>6. その他予算について</p> <p>ボランティアによるSNS発信を当初は予定していたが、コロナ禍のため遠方からのボランティア受入が困難となり、予算用途を下記に変更。</p> <p>小冊子の増刷</p> <p>茅ヶ崎市内だけでなく横浜や神戸などでも数百冊配布したため、小冊子が足りなくなり、げんき基金のロゴを入れて増刷をかけた。</p>
事業の参加者数	<p>図書館イベント参加者 24名 見学者約70名</p> <p>みみここカフェ参加者 28名</p>
事業の日程	<p>スローコミュニケーションプロジェクトWebサイト (https://slowcommunication.jp/) 公開予定日2023年3月20日</p> <p>みみここカフェ（偶数月1回 日曜日10時～12時開催）</p> <p>第10回 4月24日 参加者8名</p> <p>第11回 6月26日 参加者4名</p> <p>第12回 8月21日 参加者4名</p> <p>第13回 10月23日 参加者3名</p> <p>第14回 12月11日 参加者3名</p> <p>第15回 2月5日 参加者6名</p> <p>図書館イベント 9月23日（12：30～16：45）</p> <p>茅ヶ崎市立図書館 第1会議室</p>

形がないものをわかりやすく「伝える」ことができた

令和4年度かながわボランティア活動奨励賞を受賞！

おかげさまで、このような評価を頂くことができました。活動年度が浅いにも関わらず、1度目での受賞はまれだということでした。これまでげんき基金を活用し、多くの方の応援のお陰でここまで来れました。心より御礼申し上げます。



事業の成果と今後の展開

『スローコミュニケーションプロジェクト』Webサイト

(<https://slowcommunication.jp/>) 公開予定日2023年3月20日

スローコミュニケーションについてわかりやすく、様々な事例や取り組みなどが集まったサイトとして発信していく。

また、げんき基金のスタートアップ、ステップアップの1回目でご支援いただいた『みみとこころのポータルサイト』

(<https://4hearts.net/>) は、今後もMagazineとして当事者のロールモデルや情報を発信していく。

図書館イベントのパッケージ化とシリーズ化

図書館イベントを実施後、レポートを読んで全国各地から「うちでも実施できないか」など問い合わせが来るようになった。

そのため、全国でも広がるようパッケージ化を進めている。

イベント当日は、各グループに「助っ人」と呼ばれるインクルーシブファシリテーターに付いてもらっていたが、それが一番重要だったと感じている。そのため、インクルーシブファシリテーターの養成講座などの制作にも今後着手して行きたい。

23年度は茅ヶ崎市立博物館で出来たらと考えている。いろいろなまちの中でシリーズ展開できればと考えている。

みみここカフェダイアローグ

みみここカフェダイアローグは、2023年2月までに15回開催され、その間にスローコミュニケーションプロジェクトが始まり、活動が広がった。今後は偶数月ではなく年に1度の開催にする。

・アンケート内容

「自身の内にあった言葉にならない感情や思いを誰かが言葉で表しているのを見て、自然と自分の中で解決していつているのが不思議で、そのおかげかフットワークが軽くなった気がします。」

「こういう場は普段の生活の中にほとんどなく、障害の有無に関係なく貴重な機会だと思います。」

「みんなで作っている場である、という感じがよかったです。」

「ずっと障がいのある人に対する付き合い方がわからず、悩んでいました。何かお役に立ちたいけれど、迷惑ではないかと何も出来ずにいました。でも、なんとなく、当事者の気持ちが少しわかったように思います。もっと知りたいと思いました。」

開催レポートを読んだ全国からの当事者の方から相談が寄せられるようになった。

さらに、対話を通してスローコミュニケーションプロジェクトに純度高く賛同してくださる方々が増え、4Heartsのサポートスタッフとして関わってくれるようになった。

コンサルティングとケーステーション

実証実験で集まったデータ、代理店営業活動をコンサルティングに結びつける。

また、ツール使用意識向上と、社会モデルの提供のためのケーステーションを設立したい。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1 団体収入	140,649	168,334	団体活動費にて充当
2 事業収入	60,000	28,000	みみここカフェ参加費(1,000円×28人)
3 補助金収入	600,000	600,000	市民活動げんき基金補助
	800,649	796,334	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	60,000	60,000	みみここカフェ手話通訳謝金 5,000円×各回2名×6回
委託料	667,700	656,700	スローコミュニケーションプロジェクトサイト制作費用 NPO法人湘南スタイル ¥544,500 みみとこころのポータルサイト保守管理委託費用；NPOセカンドワーク協会¥13,200(年間) 動画撮影編集；(株)メディア・ケイフォルム ¥99,000(年間)
旅費	48,000	15,000	ボランティア交通費 1000円×15回分
物品費	3,939	3,099	指差しメニュー・コミュニケーションボード用 A3ラミネートフィルム100枚 ¥1,938 A4ラミネートフィルム100枚 ¥1,161
印刷製本費	4,810	47,470	★チラシ印刷A4サイズ、マット紙、両面カラー；プリントパック300枚 ¥4,250 ★小冊子増刷 ¥43,220 (2000冊)
通信運搬費	16,200	14,065	サーバー費用(1年間)；¥11,880 ドメイン料 (1年間)；¥2,185
	800,649	796,334	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長 殿

所在地

報告者 名称 マザーアース茅ヶ崎

代表者氏名 山田 秀砂

令和4年4月1日付け4茅市自第6号で交付決定を受けました「心の詰まりを取ろう怒りを知る『アンガーマネジメント講座』」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

<p>事業名</p>	<p>心の詰まりを取ろう、怒りを知る「アンガーマネジメント講座」</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>社会生活の中にある怒り・性差別による怒り・家庭生活の中の怒りなどを「アンガーマネジメントによる後悔しない怒り方・伝え方」のメソッドを知って活用いただく事は、私達の大きな目標の一つです。「1人1人が自分の言葉に責任を持つ事で怒りの連鎖を止める事が出来る」という事を多くの人に広めて、その事が「心理的安全性を確保する上で必要不可欠」であり、その効果はあらゆる組織において実証されております。</p> <p>今後は「心理的安全性を確保した上に成り立つあらゆる分野の多様性の活躍を最終目的」に努力して行きたいと考えています。</p> <p>多様な考えを持つ人の集合体である組織の中で、他を認める関係を構築する事でやる気を鼓舞する一つのメソッドとして「怒りを知る・アンガーマネジメント」を実施いたしました。</p> <p>今期実施内容</p> <p>：日本アンガーマネジメント協会のメソッドによる、講師1名によるセミナー形式（約2時間）</p> <p>：パワーポイントによるスライドと、テキスト（A4カラー12ページ）を使用</p> <p>：コロナ対策として講師はスクリーン反対の竿後部にてマイクを使い講義・消毒・検温など実施</p> <p>方法</p> <p>：1部は参加者4～6名のグループ G内での自己紹介と参加理由</p> <p>：パワーポイント・手元資料で講義</p> <p>：カテゴリ別にG内での感想を話し会って纏めて、Gとして発表</p> <p>：休憩を挟んで2部に</p> <p>：思考は1部と同じ、G発表の祭は順番に発表者を変える</p> <p>：G発表の際、講師が質問をする事もある</p> <p>参加者全員に話してもらう事に重きをおき、参加しているという意識を感じてもらう。</p> <p>体験談や感想を話し合い、まとめを発表するワークショップの要素が重要。</p> <p>実施場所・日時・参加人数</p> <p>：4月15日（金）PM10～12 PGC会議室 参加者12名</p> <p>ステップファミリー体験者と悩みを持つ人とのセッション</p> <p>とその後「アンガーマネジメントの関連と紐付け」の再構築（SF体験者2名と悩み中の女性4名と内部スタッフ6名・全女性）</p> <p>：5月18日（水）PM10～12 PGC会議室 参加者6名</p>

	<p>「DVで離婚を決意するタイミング」過去に体験した人と現在進行形の人とのセッション（DV体験者3名 内部スタッフ3名 男性2名・女性4名）</p> <p>：6月中止</p> <p>：7月7日（木）AM10～12 松浪コミュニティセンター会議室 参加者 8名（男性2名・女性6名） 基本はメソッドに従いましたが、4月5月のセッション内容を一例として取り上げました</p> <p>：8月15日（月） 男女共同いこりあ大会議室 参加者 20名 テーマ「60歳以上の限定」として募集（男性4名・女性16名） 楽しい70代・80代を過ごす為に必要な怒りのコントロールとは</p> <p>：9月15日（木） いこりあ大会議室 参加者 13名（男性6名・女性7名） リトルハブホームとのセッション 「コミュニケーション能力と怒りの関連」とは？</p> <p>：10月15日（土） 土曜日で中止</p> <p>：11月16日（水） 海岸コミセン 防災安全部会役員と自治会長との「心理的安全性の確保」について意見交換会（男性4名・女性2名）</p> <p>：12月15日（木） ミニアンガーマネジメント 参加者 8名（全女性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1度参加いただいた人への聞き取り調査をどうするか？ ・いただいたご提案・要望などの整理とスタッフの認識の共有などをテーマに合同3者会談
事業の参加者数	50名（女性32名・男性18名）
事業の日程	<p>4月15日（金）PM10～12 PGC会議室 参加者12名（うち、スタッフ6名）</p> <p>5月18日（水）PM10～12 PGC会議室 参加者6名（うち、スタッフ3名）</p> <p>6月中止</p> <p>7月7日（木）AM10～12 松浪コミュニティセンター会議室 参加者 8名</p> <p>8月15日（月） 男女共同いこりあ大会議室 テーマ「60歳以上の限定」として 参加者 20名</p> <p>9月15日（木） いこりあ大会議室 参加者 13名</p>

	<p>リトルハブホームとのセッション「コミュニケーション能力と怒りの関連」とは？</p> <p>10月15日（土） 土曜日で中止</p> <p>11月16日（水） 「心理的安全性の確保」について意見交換会</p> <p>12月15日（木） ミニアンガーマネジメントと会議</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>：アンガーマネジメント「怒りとは」単体内容の回数は今期限定となると3回と少ないですが、チラシや広報をみての問い合わせ件数は参加申し込み者以外に14件あり関心の高さを感じました</p> <p>：毎月15日の開催予定でしたが、15日の曜日がまちまちで集客が難しくなったのは大きな反省点です。</p> <p>：年代は小さなお子さんを持つ30代の若いお母様から70代後半の方まで幅広い参加者でした。</p> <p>：「怒りを我慢するのではなく、どのように気持ちを整理したら良いか勉強になった」「アンガーログを実践してみたい」など、参加者からは前向きな感想をたくさん頂きました。</p> <p>また、セミナーに参加できなかった方からテキスト要望の問い合わせが6件あり無料でお渡し致しました。（開催場所コミセンに預けるなど工夫しました）</p> <p>男性は疑心暗鬼な方と最初から闊達にお話されるかたも居られましたが、時間の経過と共に心を開かれご質問をよくされるようになる傾向です。</p> <p>：男性の方が思いのほか「怒り」ということにご意見をお持ちだという事が意外であり新しい発見と思いました。例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「普通に話しているだけ」なのに怒っているとよく言われる ・自分の体験した中からでしか「こうすべきは判断できない」 ・会議などで、ついカチンと来る事は確かにある <p>などのご感想をいただきました。</p> <p>ご参加された男性はほぼ全員が怒りの発生メカニズムや原因をお話すると「そうなんだよな～」と納得していただけたことはスタッフもやり甲斐あったと納得の結果でした。</p> <p>今後は男性社会である防災とも絡め、よりたくさんの方々を受講して頂けるような企画を考えております。</p> <p>男性に関してのレポートとしては男性に対してこそ「アンガーマネジメント・怒りをコントロールする」を受講していただきたいと益々考えました。</p> <p>今後の高齢化社会を考えると最も重要と思えるのはウェルビーイングな生き方を望む方々へのチケットとして是非皆様に受講して</p>

いただき 60 代以上の気持ちの良い関係を持てる方々が多くなれば・・・

実働世代の幸せ度も上がると考えます。

肉体的、精神的、そして社会的に良好な状態を目指す生き方が有る事を心より知って欲しいと考えています。

ハーバード大学成人発達研究が 75 年間にわたって追跡調査をした結果、幸福な人生を送るために一番大切なものは「良い人間関係を築くこと」ということが明らかになったそうです。

荒ぶる災害時の避難所運営や平時の訓練など、あらゆる組織の心理的安全性確保へ重要な鍵となるのが本企画だと信じております。

購入させていただいたビデオカメラで講座の様子を撮影しました。

記録と共に編集に力を入れ、分りやすくご理解しやすいショート編を作成してみたいと考えています。団体HPへの掲載や今後実施する講座で放映する等、さらなるアンガーマネジメントの周知・啓発に活用していきます。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	981	15,640	「マザーアース茅ヶ崎」会費より
事業収入	60,000	15,000	参加費 300×50人
補助金収入	190,000	120,000	市民活動げんき基金補助 (70,000円返納)
	250,981	150,640	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
物品費	152,642	65,340	ビデオカメラ1台
教材費	40,000	46,868	セミナー用資料 A4カラーテキスト 840枚(33,600円) A4モノクロコピー 1523枚(13,268円)
感染予防対策費・消耗品	16,304	0	
印刷費	25,235	38,432	パンフレット印刷(コミセン・掲示板・ホスティング) A4チラシ片面カラー 1900枚(4,932円) A4チラシ両面カラー 7500枚(33,500円)
通信・運搬費	16,800	0	
	250,981	150,640	

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	ビデオカメラ パナソニック HC-W590MS-B	2022年5月10日	65,340円
	使用方法		
	セミナー開催時の様子や発言の記録に使用。（写真添付）		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。

2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。

3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。

市民活動推進補助事業実績報告書

令和5年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 湘南Liebe

代表者氏名 代表 三輪 マリ子

令和4年4月1日付け4茅市自第5号で交付決定を受けました「赤ちゃんとママのためのコンサート～こどもから大人まで楽しめるコンサート～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>2022年</p> <p>1. 日時：7月30日（土）10時15分開演 会場：茅ヶ崎市民文化会館ミニホール チケット： 大人1000円（0歳～3歳まで1名無料） こども500円（4歳以上）</p> <p>* 定員20組 内容：音楽の生演奏（40分間） ※購入した楽譜「崖の上のポニョ」海のおかあさん演奏 助産師さんとのお話会（40分間）</p> <p>2. 日時：12月24日（土）12時30分開演 会場：茅ヶ崎市民文化会館小ホール チケット：大人1000円（0歳～3歳まで1名無料） こども500円（4歳以上）</p> <p>* 定員80組 内容：照明とステージの飾りつけでクリスマスの雰囲気 の中、音楽の生演奏（50分間） ※著作権購入により以下を演奏</p> <p>1. ララルー ～わんわん物語～ 2. ありがとうの花～おかあさんといっしょ～ 3. バロックホーダウン～エレクトリカルパレード～ 4. 小さな世界 5. お話と音楽「はらぺこあおむし」（クリスマスバージョン） 6. お誕生日おめでとう（11月12月1月生れのお友達） *お申込みの時に情報を頂いたお子さまのお名前をお呼びします</p> <p>7. 童神 8. 手遊び歌 おおきなたいこ・とんとんとんひげじいさん 9. そりすべり 10. クリスマスソング・メドレー ～赤鼻のトナカイ・あわてんぼうのサンタクロース・ ジングルベル～ 11. きよしこの夜</p>

事業の成果と今後の展開

***事業の成果**

コロナ禍で休止していたコンサートでしたが、今回再開の告知を今まで参加された方に配信をしたところ、多くの反響がありました。

3年間の間に第1子から第2子に受け継がれて、リピーターのかた・新規の赤ちゃん和妈妈・パパも参加されました。

また、茅ヶ崎市にとどまらず近隣の市（平塚市・藤沢市・小田原市・横浜市）からの参加のかたもいらっしゃいました。

このような状況をみますと、コロナ禍での制約があっても安心してお子様と出かける場所を求めているママ・パパの要望に応えることができたのではないかと思います。

最近の子育てはママだけではなく、パパも活躍しています。助産師さんとの相談会もパパの思っている不安な面が解消されるのではないのでしょうか

このコンサートの必要性を感じています。

アンケート集計でも、小さな子供を連れて出かける場が少ないという記入が見受けられました。

そして子供から大人まで楽しめるコンサートの成果としては、アンケートからもわかるとおり、楽しかった！の声です

コンサートと一緒にに行ったこと、子どもが楽しいんでいる様子を見て幸せを感じる心を提供できたことです。

リピーターの方でほとんど毎回参加されていたお子様は成長されて今回から、大人のコンサートにデビューします！と私たちの企画の別のコンサートに来場されました。

このように、引き継いで年齢とともに音楽を家族で楽しむ場所を提供してゆきたいと思いました。

（アンケートの集計は別紙参照）

今回は、コロナ禍でのコンサートのため、チケットは事前清算（Paypay・銀行振り込み）チケット郵送という方法で開催しました。

当日の受付がスムーズにお客様を誘導できました。

パーテーションやフェイスシールドを購入して、受付をする際の感染対策をおこないました。

***今後の展開**

必要性を感じましたので赤ちゃん和妈妈のためのコンサートは継続していきたいと思います。

最近パパの参加者も多いので、参加しやすい土・日に設定をして、お申し込みの参加者に全員に来ていただけるように工夫をしたいと思います。

ミニホールで行う場合 1回 20組（40名）ほどしかご参加い

	<p>ただけないので、2回公演ができるように工夫したいと思っています。</p> <p>また、赤ちゃんを卒業した幼児・低学年のお子様むけに別企画で、参加型・体験型のコンサートを検討しています。</p> <p>今回のコンサートの記録は、ホームページやSNS、YouTube作成のために活用します。</p>
--	--

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
会費	9252	1547	2021年会費
事業収入	144000	163500	1000円×24名+500円×2名 1000×106名+500円×17名 1000×23名+500円×2名
補助金収入	323000	323000	市民活動げんき基金
	476252	488047	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	51000	76000	外注スタッフ 作業・受付・会場設営・搬入・搬出 (別紙 賃金台帳参照) 3名 42000円 ステマネ・記録・会場設営 1名 22000円 助産師 1名 12000円
謝金	98400	104000	外部演奏者 20000円×3名 60000円 (打合せ・練習・リハーサル・本番含む) チラシデザイン1名 11000円 照明1名 33000円
旅費	33440	57840	会員 詳細別紙 会員8名
物品費	33372	25382	パーティション 5980円 フェイスシールド 440円 マッキー黒 92円 ハイマッキー 115円 チケット用紙 423円 プリンタラベルシール 3388円 封筒長4 321円×2 封筒長3 701円 クラフト封筒 2144円 クリアフォルダー 1097円 コピー用紙A4 693円 ゼムクリップ 192円×2 領収書 92円

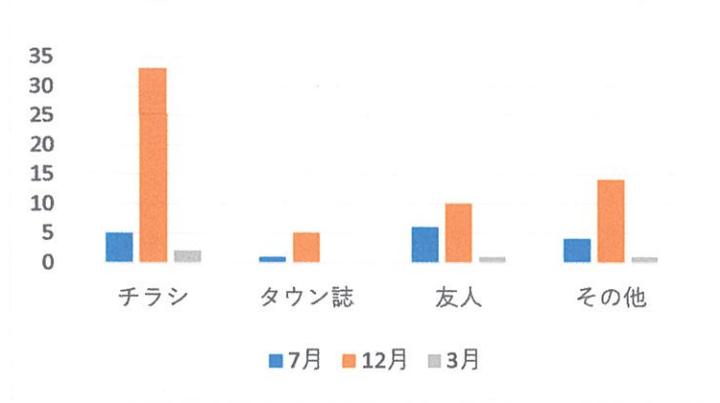
			ヤマトのり	269円
			インクカートリッジ	7602円
			楽譜7月「海のおかあさん」	1320円
印刷製本費	53000	26890	7月チラシ1000部	3490円
			12月チラシ1500部	4280円
			12月プログラム200部	5236円
			3月チラシ1000部	3490円
			コピー代(楽譜・アンケート・送り状)	5554円
			ポスター(クリスマス用2枚)	4840円
通信費	34860	25470	7月コンサート	
			切手84円×16枚	1344円
			(申込者にチケット・チラシ送付)	
			レターパック	370円
			(出演者に楽譜・チラシ他送付)	
			12月コンサート	
			レターパック×3通	1110円
			(出演者に楽譜・チラシ他送付)	
			140円×3通	420円
			(チラシ送付)	
			定形外390円×2通	780円
			(出演者に楽譜・チラシ他送付)	
			切手84円×80枚	6720円
			(申込者にチケット・チラシ送付)	
			94円×3枚	282円
			10円×6枚	60円
			(チラシ送付不足分)	
			120円×57通	6840円
			(保育園・幼稚園・小児科・他チラシ送付)	
			140円×25通	3500円
			(子どもの家に送付・平塚市・藤沢市)	
			94円×1通	94円
			(申込者にチケット・チラシ送付)	
			250円×1通	250円
			(出演者に楽譜・チラシ送付)	
			120円×6通	720円
			(申込者にチケット送付)	
			3月コンサート	
			250円×1通	250円

			260円×1通	260円
			260円×1通	260円
			250円×1通	250円
			140円×1通	140円
			140円×1通	140円
			(出演者などに楽譜・チラシなど送付)	
			切手84円×20枚	1680円
			(申込者にチケット・チラシ送付)	
使用料・賃借料	172180	172465	コンサート代	165040円
			著作権使用料	7425円
合計	476252	488047		

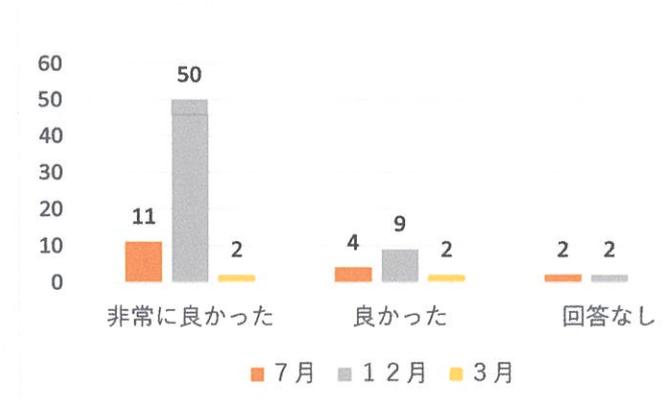
2022年 赤ちゃん和妈妈のためのコンサートアンケート集計

(7月・12月・3月)

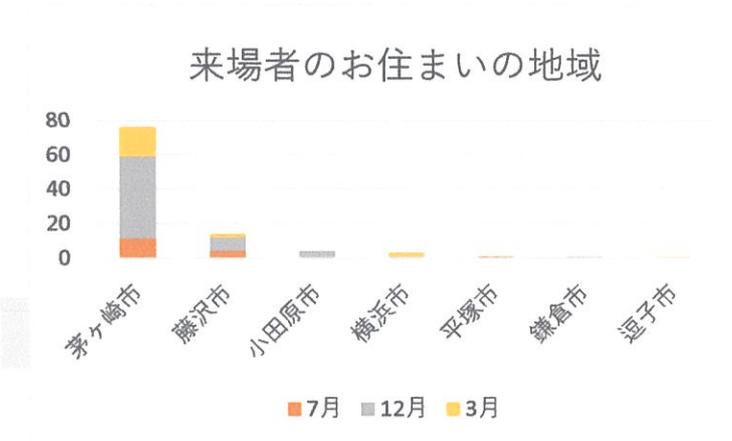
1. このコンサートを知った場所



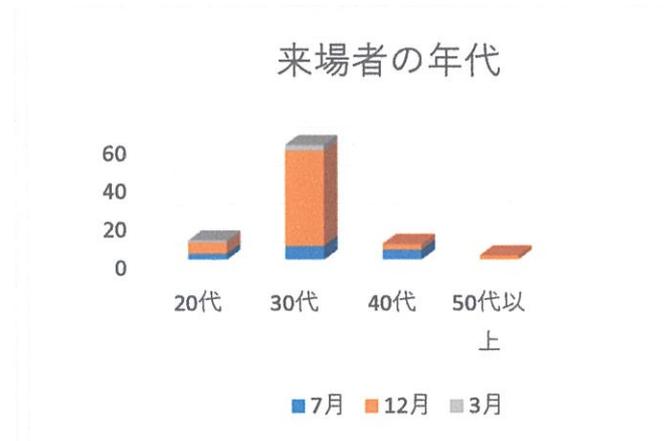
2. コンサートの内容について



3. お住まいの地域



4. 来場者の年代



5. 助産師さんにとりあげてほしい内容・悩んでいる事

- * 他の子と知り合えない
- * 離乳食について
- * お昼寝がうまくいかない
- * 移住してきたため知り合いが少ない
- * いやいや期について
- * 1歳児暮らしのイベントが少ない
- * 子どもの遊び場が少ない
- * 夜泣きについて
- * 兄弟の子育てについて聞けたら良かった。
- * 真夏の家の中での遊び方
- * 季節の対応策 (今回の夏のクールダウン対策は良かった)
- * 室内遊び・外遊びの内容 (いつも同じ内容になってしまうから)

6. コンサートについての感想

★7月のコンサート 回答者16名

- *手遊び歌や懐かしい曲・様々なジャンルの曲があり、子ども親も楽しめました。
- *あっという間でもっと聞いていたかったです。ありがとうございました。
- *子どもと一緒に楽しめるなんて初めての経験でしたので嬉しかったです。
- *手拍子の多い歌を希望します。
- *初めて参加しました、こうしたコンサートに行く機会がなかったので、とても良かった
- *優しい音色で娘とともにゆったりとした気持ちで楽しませてもらいました
- *お母さんと一緒のおはよう！とおはようクレヨン！が好きです。
- *フルートの「愛のあいさつ」「昔メドレー」もとても良かった。
- *12月も楽しみにしています。
- *子どもと来場できるコンサートはなかなかないので、とても貴重です。

★12月のコンサート 回答者 90名

- *楽器の生の演奏に触れてこどもが見たことがないようなリアクションでびっくりした
- *感動して涙がとまりませんでした。音楽力って素晴らしい
- *こども連れのコンサートのため、気兼ねなく過ごせた
- *一緒に歌える歌があって良かった
- *クリスマスの気分が盛り上がりました
- *マリンバがとてもよかった 3名
- *子どもが手遊び歌で参加できて楽しかった 3名
- *赤ちゃんが騒いでも安心してきけた 4名
- *子どもがすごく喜んでいました
- *素敵なクリスマスコンサートでした
- *菊池さんの声がよかった 1名
- *素晴らしかった 2名
- *平和の空間で良いクリスマスになりました。
- *また来たいです 2名
- *子どもと一緒に楽しめました
- *誕生日の歌が良かった・名前を呼んでもらえて嬉しかった 2名
- *知っている曲がたくさんでよかった 4名
- *生の音楽に触れられて嬉しい
- *初めてのクリスマスの良い思い出になりました
- *小さな世界でピアノと楽器だけなのに、いろいろな世界がわかってよかった
(プロジェクターで映像を使った)
- *はらぺこあおむしを歌にのせて聞けて良かった 2名
- *こどもが楽しめる選曲でした 2名
- *開演時間が午前中だとよい
- *時間も選曲も良かった。また来たい 2名
- *アンケートのアプリ入力希望
- *とても楽しかった 3名
- *子守歌が良かった (童神)
- *優しい雰囲気演奏者の皆様が良かったです
- *すごく楽しかった 2名
- *雰囲気も含めて楽しめました
- *同世代のお友達をたくさん見れた
- *ディズニーの音楽がきけて良かった

- * いろいろな楽器の演奏がきけて。歌声も良かった。子供も喜んでいて
- * リラックスして過ごせた
- * 子どもも興味をもって見ていた
- * 2019年に参加しました
- * 子どもも3人になり楽しく過ごせました
- * ぜひこれからも続けてほしい
- * 赤ちゃんともママだとママ限定感がでるので、ネーミングを考えてほしい
- * 客席もにぎやかで楽しかった
- * 孫が大喜びでした
- * 歌声と楽器の音を聞き入っていました。

- * コンサートという体験を初めてさせてあげることができて良かった
- * 2歳の孫。途中で眠ってしまったが、耳には入っていると思う
- * 来年も連れていきたい
- * 良かったです
- * 手遊び歌があって良かった。最後ではなく途中でもよい。
- * 子どもも楽しくきいていました。 3名
- * いろんな種類の曲を幅広く聞けたので良かった。
- * 子どもが声を出し気兼ねなく会場内にいられて安心した。

★3月コンサート（QRコードによるアンケート） 回答者4名

7. コンサートの様子



市民活動推進補助事業 協力企業

湘南ヤクルト販売株式会社

対象の自動販売機で飲み物を買うと、売り上げの一部が市民活動推進基金へ寄附されます。設置場所：茅ヶ崎市体育館（茅ヶ崎市十間坂三丁目6番5号）



対象となる自動販売機は、こちらのえぼし麻呂のデザインが目印です！
指1本でできる募金です！

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）

令和5年度事業は、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）様からの企業版ふるさと納税も活用して補助を実施します。

GDO



GDO

CHIGASAKI GOLF LINKS

「GDO 茅ヶ崎ゴルフリンクス」（茅ヶ崎市菱沼海岸）の運営事業者として、これまでも市政の様々な分野に対しご寄附をいただくなど、ご支援・ご協力をいただいております。

みなさまの寄附が
市民活動の応援に
つながっています！



ご協力いただき
ありがとう
ございます！